

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

No. _____

農 薬 抄 録

フルベンジアミド (殺虫剤)

(作成年月日)

平成27年 6月25日改訂

(作成会社名) 日本農薬株式会社

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

目 次

	頁
I. 開発の経緯	1
II. 物理的・化学的性状	2
III. 生物活性	15
IV. 適用及び使用上の注意	16
V. 残留性及び環境中予測濃度算定関係	27
VI. 有用動植物等に及ぼす影響	103
VII. 使用時安全上の注意、解毒法等	124
VIII. 毒性	
<毒性試験一覧表>	127
1. 原体	
(1) 急性毒性	136
(2) 皮膚及び眼に対する刺激性	140
(3) 皮膚感作性	143
(4) 急性神経毒性	145
(5) 急性遅発性神経毒性	149
(6) 90日間反復経口投与毒性	150
(7) 21日間反復経皮投与毒性	173
(8) 90日間反復吸入毒性	174
(9) 反復経口投与神経毒性	175
(10) 28日間反復投与遅発性神経毒性	176
(11) 1年間反復経口投与毒性及び発がん性	177
(12) 繁殖毒性及び催奇形性	235
(13) 変異原性	273
(14) 生体機能影響	286
(15) その他	290
2. 原体混在物及び代謝物	324
3. 製剤	333
IX. 動植物及び土壌等における代謝分解	
<代謝分解試験一覧表>	375
<代謝分解物一覧表>	381
(1) 動物体内運命	385
(2) 植物体内運命	411
(3) 土壌中運命	438
(4) 水中運命	454
(5) 土壌吸着性	464

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

(6) 生物濃縮性	467
<代謝分解のまとめ>	471
<動植物、土壌及び光における代謝分解経路>	474
<代謝分解の概要>	475
[附] フルベンジアミドの開発年表	487

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

I. 開発の経緯

フルベンジアミド(商品名:フェニックス)は、日本農薬株式会社により発明された新規殺虫剤である。

本剤は、既存剤と異なる新規骨格の化合物であり、日本農薬株式会社総合研究所にて初めて合成され、鱗翅目害虫に対する高い殺虫活性が発見された。その後、社内の温室及び圃場試験において既存薬剤と比較し、同等から優る効果を示した。

日本農薬株式会社は、NNI-0001 顆粒水和剤の試験名で(社)日本植物防疫協会を通じて20%顆粒水和剤にて委託試験を開始した。その結果、本剤は野菜・茶・果樹等のコナガ、オオタバコガ、ハスモンヨトウ、チャハマキ、モモシクイガなど主要な鱗翅目害虫に優れた効果を示し、鱗翅目害虫防除剤としての実用性が確認された。

一方、安全性評価に必要な毒性、代謝試験等を、作物残留及び土壌残留試験等を実施し、その安全性が確認された。そこで、本剤は野菜・茶・果樹等の鱗翅目害虫防除剤として農作業の効率化に貢献できると判断し、商品化に向け農薬登録の申請し、フェニックス顆粒水和剤が登録された。食品中の残留農薬に係る安全性は内閣府食品安全委員会で審査され、ADI が 0.017 mg/kg/日と決定された。また、ADI は海外においても評価されており、米国 0.024、豪州 0.01 および JMPR では 0.02 mg/kg/日と設定されている。一方、ARfD は米国 0.995、欧州 0.1 および JMPR では 0.2 mg/kg/日と設定されている。

なお、海外においてもフルベンジアミドを開発しており、パキスタン、フィリピン、チリ、インド、タイ、ケニア、コロンビア、韓国、中国、米国、ギリシャ、ブラジル、インドネシア、トリニダード・トバゴ、オーストラリア、メキシコ、ボリビア、スリランカ、バングラデッシュ、ベトナムにおいて野菜及び果樹で登録を取得している。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

II. 物理的・化学的性状

1. 有効成分の名称及び化学構造

1) 一般名

和名： フルベンジアミド

英名： flubendiamide (ISO 名)

2) 別名

商品名： フェニックス®

試験名： R-41576、NNI-0001

3) 化学名

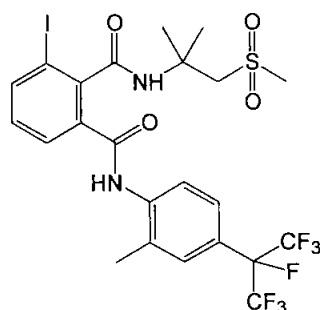
和名： 3-ヨード-N'-(2-メシル-1,1-ジメチルエチル)-N-[4-[1,2,2,2-テトラフルオロ-1-(トリフルオロメチル)エチル]-*o*-トリル]フタルアミド (IUPAC 名)

N'-[1,1-ジメチル-2-(メチルスルホニル)エチル]-3-ヨード-N-[2-メチル-4-[1,2,2,2-テトラフルオロ-1-(トリフルオロメチル)エチル]フェニル]-1,2-ベンゼンジカルボキサミド (CA 名)

英名： 3-iodo-N'-(2-mesyl-1,1-dimethylethyl)-N-[4-[1,2,2,2-tetrafluoro-1-(trifluoromethyl)ethyl]-*o*-tolyl]phthalamide (IUPAC 名)

N'-[1,1-dimethyl-2-(methylsulfonyl)ethyl]-3-iodo-N-[2-methyl-4-[1,2,2,2-tetrafluoro-1-(trifluoromethyl)ethyl]phenyl]-1,2-benzenedicarboxamide (CA 名)

4) 構造式



5) 分子式

$C_{23}H_{22}F_7IN_2O_4S$

6) 分子量

682.39

7) CAS 番号

272451-65-7

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

2. 有効成分の物理的・化学的性状

- 1) 外観・臭気: 白色結晶性粉末、特異臭なし
(、2004年、GLP)
- 2) 密度: 1.659 g/cm³ (20.8°C、OECD 109、ガス比較比重計法)
(、2002年、GLP)
- 3) 融点: 217.5~220.7°C (OECD 102、DSC法)
(、2002年、GLP)
- 4) 沸点: 観察されず/255~260°Cにおいて分解 (OECD 113、DSC法)
(、2002年、GLP)
- 5) 蒸気圧: < 10⁻⁴ Pa (25°C、OECD 104、Knudsen 拡散法)
(、2002年、GLP)
- 6) 溶解性:

溶媒	溶解度 (g/L)	
水	29.9 × 10 ⁻⁶	20°C、pH 5.89 ~ 6.01、カラム溶出法 (、2001年、GLP)
n-ヘプタン	83.5 × 10 ⁻⁵	19.8°C、フラスコ法 (、2003年、GLP)
p-キシレン	0.488	
1,2-ジクロロエタン	8.12	
アセトン	102	
メタノール	26.0	
酢酸エチル	29.4	

- 7) 解離定数: 測定不能 (構造上解離する部位がないため)
- 8) オクタノール/水分配係数:
logPo/w = 4.20 (24.9 ± 0.1°C、pH 5.91、OECD 107、フラスコ振とう法)
(、2001年、GLP)
- 9) 生物濃縮性: BCF_{ss} = 73 (5.0 µg/L)
(、2005年、GLP)
- 10) 安定性
- ① 熱 255°Cまで安定 (OECD 113、DSC法)
(、2002年、GLP)
- ② 加水分解性 (OECD 111法)
半減期: >1年 (25°C、pH 4.0, 7.0, 9.0)
(、2001年、GLP)

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

③ 水中光分解性(12 農産第 8147 号/EPA N-161-2 法)、

半減期(蒸留水): 5.5 日

(25°C; キセノンランプ、623.4~640.4 W/m²; 280~800nm)

半減期(自然水): 4.3 日

(25°C; キセノンランプ、623.4~640.4 W/m²; 280~800nm)

(、2002 年、GLP)

11) 土壌吸着係数(OECD 106 法)

$K_F^{ads} = 26.9 \sim 54.6$ 、 $K_{Foc}^{ads} = 1546 \sim 3658$ (25°C)

(、2003 年、GLP)

12) UV/VIS、IR、NMR 及び MS スペクトル

図-1 から図-5 に示す。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

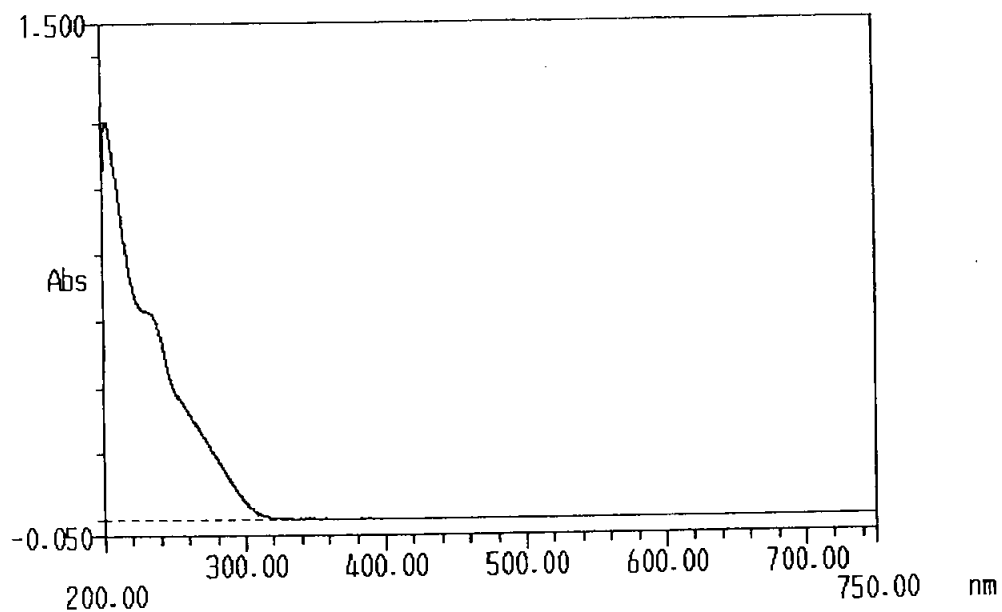


図-1-1 フルベンジアミド純品の酸性条件下メタノール中 UV/VIS スペクトル

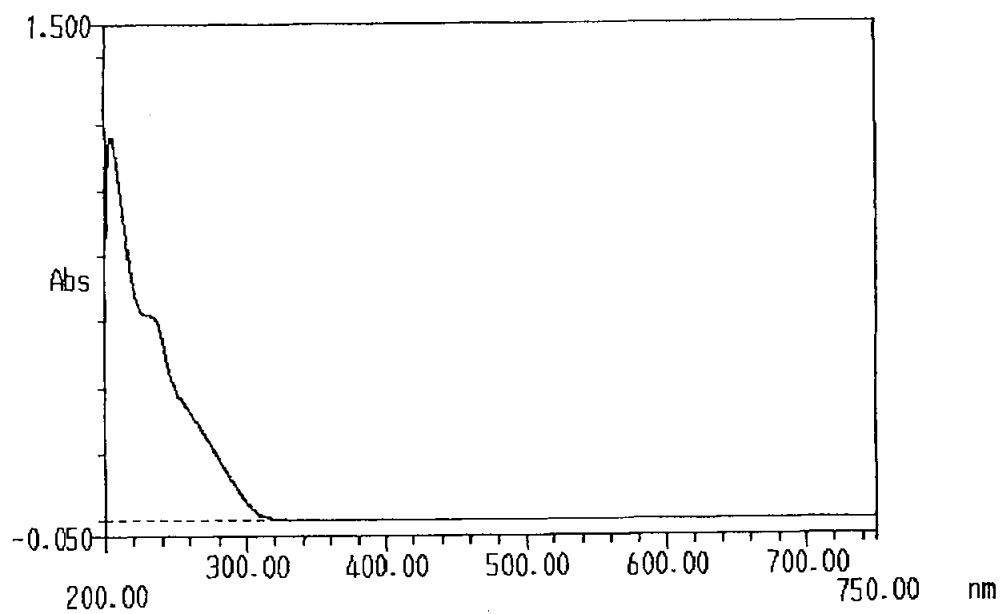


図-1-2 フルベンジアミド純品のメタノール中 UV/VIS スペクトル

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

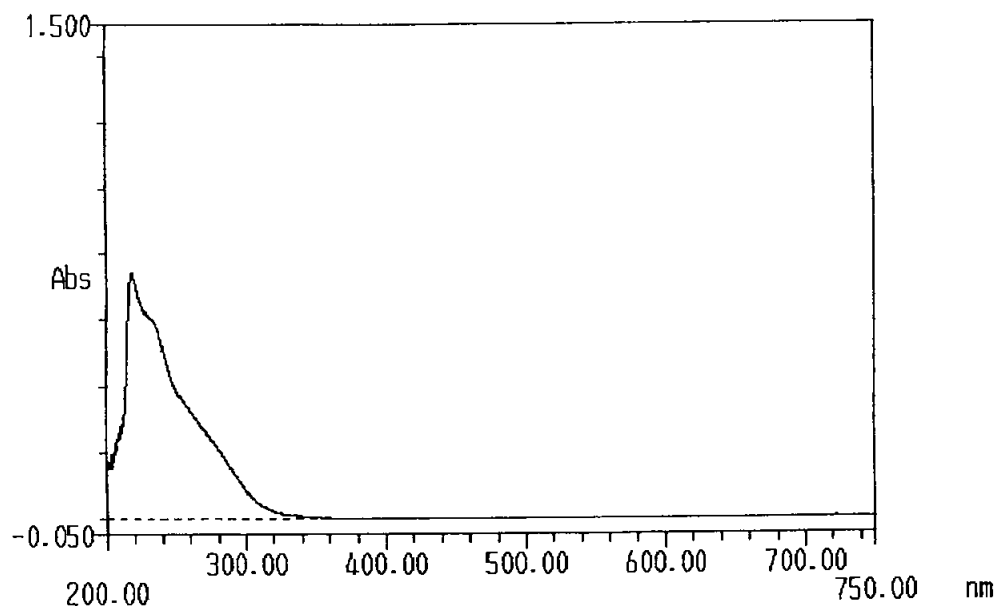


図-1-3 フルベンジアミド純品の塩基性条件下メタノール中 UV/VIS スペクトル

溶媒	極大吸収波長 (nm)	モル吸光係数 ($M^{-1}cm^{-1}$)
酸性	203.0	40500
中性	204.4	39066
塩基性	218.0	24967

試験機関: 、2001年、GLP
 測定方法: OECD 101 法
 使用機器: ダブルビーム紫外可視分光光度計 U-3000 (株日立製作所)
 使用溶媒: 酸性: メタノール/ 1N HCl aq. (9/1, v/v)
 中性: メタノール
 塩基性: メタノール/ 1N NaOH aq. (9/1, v/v)
 測定範囲: 200~750nm
 光路長: 1cm

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

R-41576 (OFH0002P)

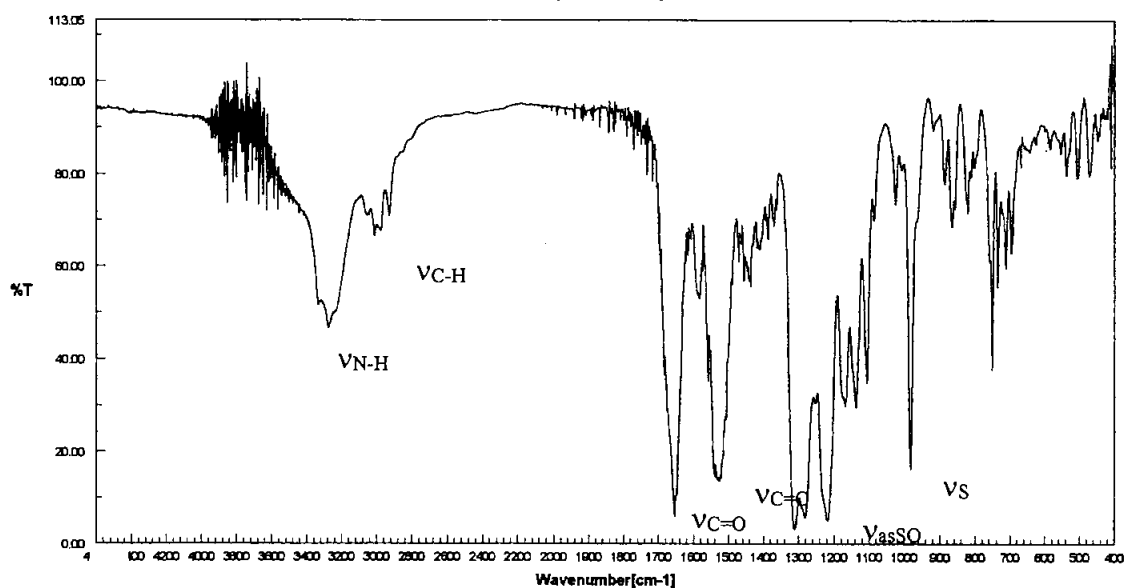


図-2 フルベンジアミド純品の IR スペクトル

波数 (cm ⁻¹)	帰属
989	C-S 伸縮振動
1219	S=O 非対称伸縮振動
1524	C=C 伸縮振動
1651	C=O 伸縮振動
3000 付近	芳香族 C-H 伸縮振動
3250 付近	N-H 伸縮振動

試験機関: 、2001年、GLP
 使用機器: フーリエ変換赤外分光計 FT-IR300E (日本分光株)
 測定方法: KBr 錠剤法
 分解能: 2 cm⁻¹
 測定範囲: 400~4600 cm⁻¹

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

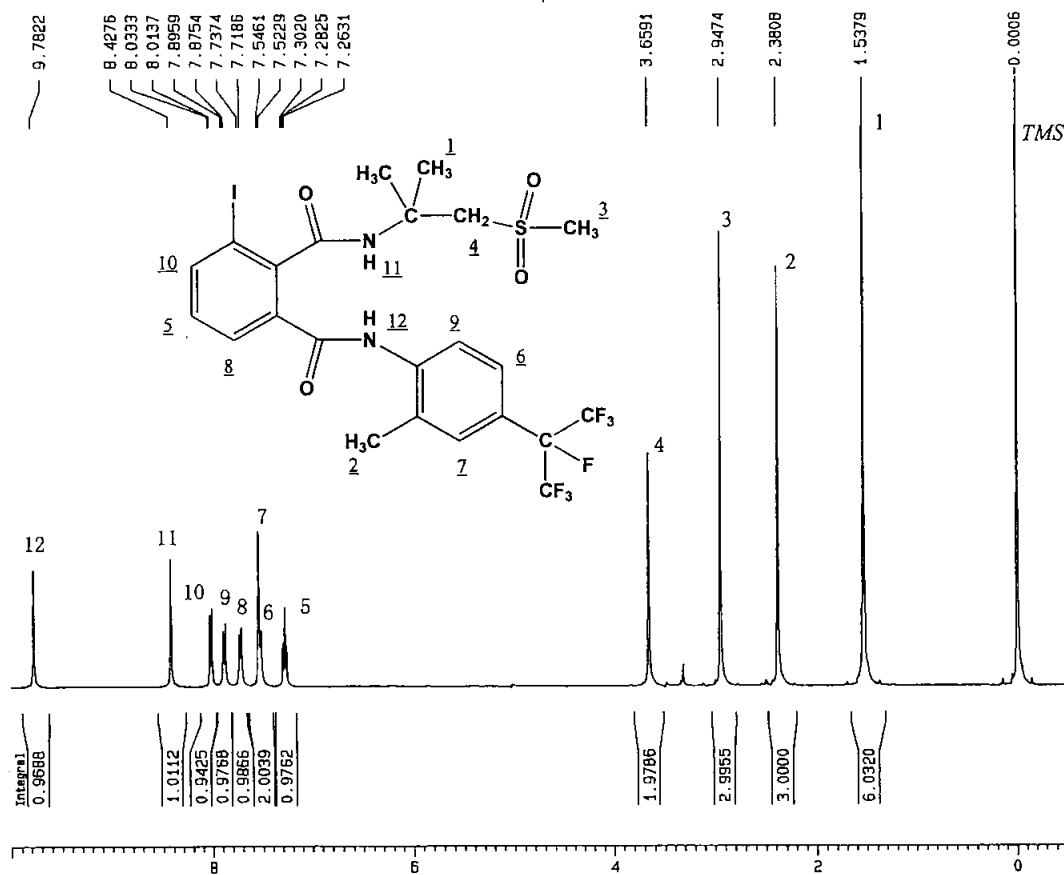


図-3 フルベンジアミド純品の $^1\text{H-NMR}$ スペクトル

帰属	化学シフト(ppm)	プロトン数	多重度	結合定数(Hz)
1	1.538	6	singlet	-
2	2.381	3	singlet	-
3	2.947	3	singlet	-
4	3.659	2	singlet	-
5	7.283	1	double doublet	7.9, 7.5
6	7.533	1	doublet	8.2
7	7.546	1	singlet	-
8	7.728	1	doublet	7.5
9	7.886	1	doublet	8.2
10	8.024	1	doublet	7.9
11	8.428	1	singlet	-
12	9.782	1	singlet	-

試験機関: 2001年、GLP
 使用機器: 超伝導フーリエ変換 NMR 分光計 ARX-400 (Bruker GmbH)
 測定溶媒: d_6 -DMSO
 内部標準: テトラメチルシラン (TMS)
 測定温度: 27°C

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

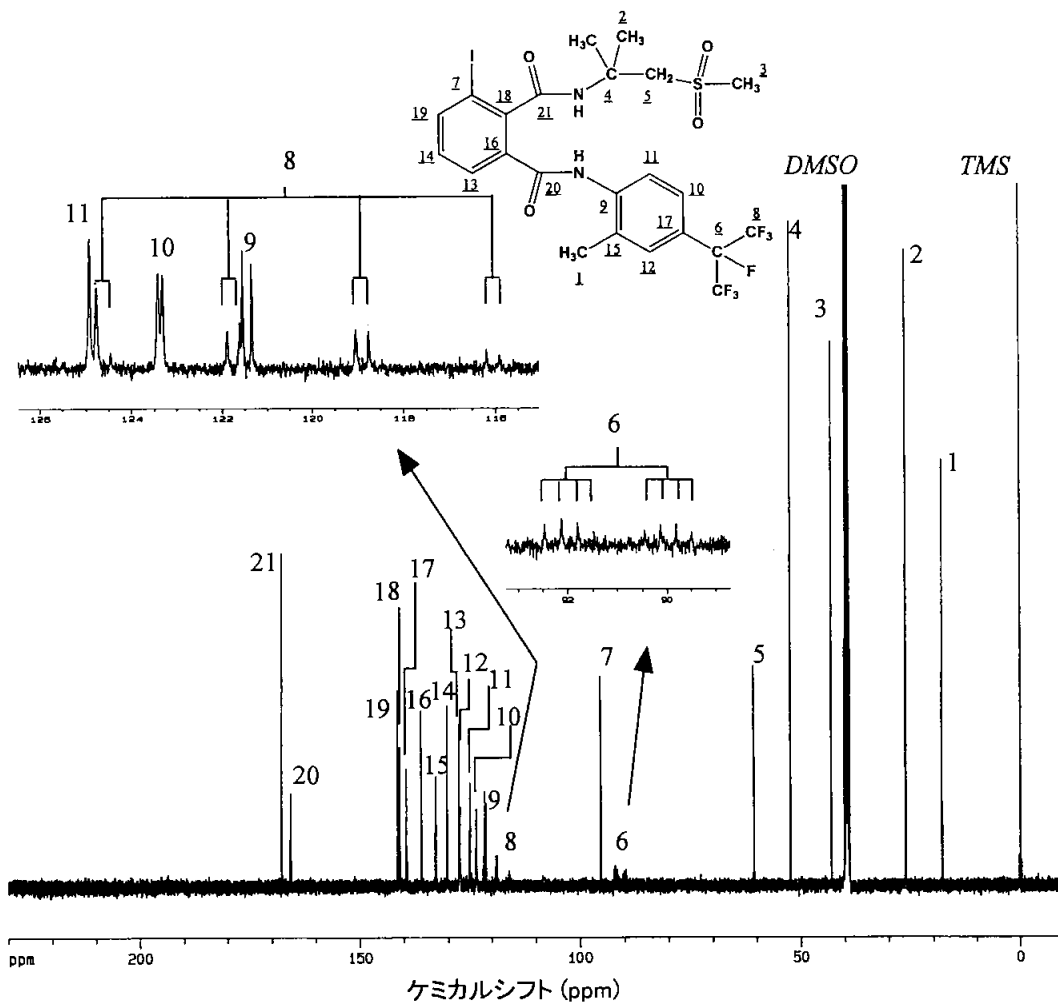


図-4 フルベンジアミド純品のプロトンデカップリング ¹³C-NMR スペクトル

帰属	化学シフト (ppm)	多重度	結合定数 (J _{C-F} , Hz)	帰属	化学シフト (ppm)	多重度	結合定数 (J _{C-F} , Hz)
1	17.970	singlet	-	12	127.247	doublet	11
2	26.156	singlet	-	13	127.396	singlet	-
3	43.112	singlet	-	14	130.195	singlet	-
4	52.451	singlet	-	15	132.830	doublet	15
5	60.761	singlet	-	16	136.019	singlet	-
6	90.967	double septet	233, 33	17	139.359	doublet	12
7	95.426	singlet	-	18	140.827	singlet	-
8	120.330	double quartet	284, 28	19	141.360	singlet	-
9	121.446	doublet	21	20	165.582	singlet	-
10	123.382	doublet	9	21	167.619	singlet	-
11	124.618	doublet	31				

試験機関: 2001年、GLP
 使用機器: 超伝導フーリエ変換 NMR, ARX-400 (Bruker)
 測定溶媒: d₆-DMSO
 内部標準: テトラメチルシラン(TMS)
 測定温度: 27°C

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

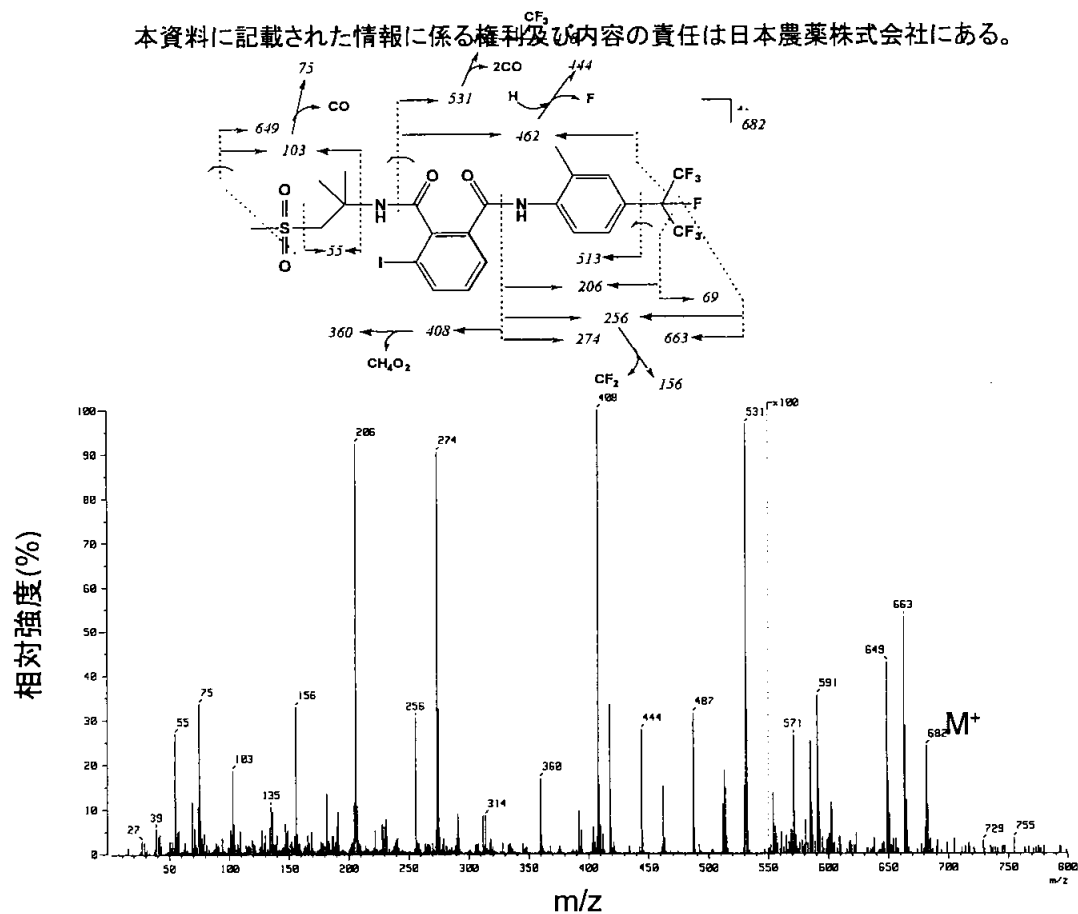


図-5 フルベンジアミド純品のEI-マススペクトル

m/z	相対強度 (%)	帰属	m/z	相対強度 (%)	帰属
682	0.24	[M] ⁺	360	16.78	[408 - CH ₄ O ₂] ⁺
663	0.53	[M - F] ⁺	274	90.44	[C ₁₀ H ₇ F ₇] ⁺
649	0.43	[M - CH ₃ - H ₂ O] ⁺	256	30.42	[274 - F + H] ⁺
531	96.80	[M - C ₅ H ₁₃ NSO ₂] ⁺	206	92.37	[274 - CF ₃ + H] ⁺
513	18.62	[M - C ₃ F ₇ + H] ⁺	156	32.92	[256 - C ₂ F ₄] ⁺
487	31.45	[531 - CO ₂] ⁺	103	18.65	[C ₄ H ₇ SO] ⁺
462	15.11	[531 - CF ₃] ⁺	75	33.58	[C ₃ H ₇ S] ⁺
444	27.76	[462 - F + H] ⁺	69	11.65	[CF ₃] ⁺
418	33.52	[487 - CF ₃] ⁺	55	26.92	[C ₄ H ₇] ⁺
408	100.00	[M - C ₁₀ H ₇ F ₇] ⁺			

試験機関: 、2001年、GLP
 使用機器: 逆配置2重収束質量分析計 JMS-700 (日本電子株)
 イオン化法: 電子衝撃 (EI)
 イオン化電圧: 70V
 分解能: > 1000 (10% valley)
 試料導入: 直接導入 (プローブ温度 30°C - 250°C、64°C/分昇温)

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

3. 原体の成分組成

区分	名称		構造式	分子式	分子量	原体中の含有量 (%)	
	一般名 [略称]	化学名				規格値	通常値
有効成分	フルベンジアミド	3-エト-N'-(2-メチル-1,1-ジメチルエチル)-N-[4-[1,2,2,2-テトラフルオロ-1-(トリフルオロメチル)エチル]-オトリル]フルアミド		$C_{23}H_{22}F_7IN_2O_4S$	682.39	≥95.0	96.8~ 99.1

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

原体の成分組成(続き)

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

原体の成分組成(続き)

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

4. 製剤の組成

1) 20.0% 顆粒水和剤

フルベンジアミド	20.0%
鋳物質微粉、界面活性剤 等	80.0%

2) 18.0% フロアブル

フルベンジアミド	18.0%
界面活性剤、水 等	82.0%

3) 4.0% フロアブル

イミダクロプリド	2.0%
フルベンジアミド	4.0%
水、界面活性剤 等	94.0%

4) 42.0% フロアブル

フルベンジアミド	42.0%
水、界面活性剤 等	58.0%

5) 10.0% くん煙剤

フルベンジアミド	10.0%
発熱剤、鋳物質微粉 等	90.0%

Ⅲ. 生物活性

1. 活性の範囲

以下の鱗翅目害虫に対して殺虫活性が認められた。

コナガ、アオムシ、ヨトウムシ、ハスモンヨトウ、オオタバコガ、ハイマダラノメイガ、シロイチモジヨトウ、
ウリノメイガ、タマナギンウワバ、チャノコカクモンハマキ、チャハマキ、チャノホソガ、ヨモギエダシヤク、アメリカシロヒトリ、モンクロシャチホコ、ヒメシロモンドクガ、マイマイガ、リンゴコカクモンハマキ、
ミダレカクモンハマキ、トビハマキ、キンモンホソガ、ギンモンハモグリガ、モモハモグリガ、モモシンクイガ、ナシヒメシンクイ、モモノゴマダラノメイガ、ニカメイガ、コブノメイガ

2. 作用機構

本化合物を処理された鱗翅目の幼虫には、極めて特徴的な体収縮症状が認められる。これまでの検討の結果、この体収縮症状は筋肉細胞小胞体のカルシウムイオンチャンネルの持続的活性化、即ちカルシウムイオンの細胞質への放出に起因することが示されている。これらの結果から、本化合物の作用点はカルシウムイオンチャンネルであることが強く示唆される。また、本化合物は哺乳類由来の同チャンネルの活性には全く影響せず、作用点レベルにおいて昆虫、特に鱗翅目選択的に作用するとの知見も得られている。

3. 作用特性と防除上の利点等

- 1) 既存の殺虫剤(有機リン系、カーバメート系、ピレスロイド系、ベンゾイルウレア系、ベンゾイルヒドラジド系、クロロニコチニル系等)と構造が異なる新しいタイプの殺虫剤である。
- 2) 鱗翅目全般に高い殺虫効果を示す。幼虫、成虫に対して活性を有し、特に幼虫に対する効果が高い。甲虫目の一部にも活性を示すが、半翅目、スリップス目、直翅目、シロアリ目及びハダニ類に対しては活性が無いか極めて低い。
- 3) 既存の殺虫剤との交差抵抗性を示さない。既存の有機リン剤、カーバメート剤、合成ピレスロイド剤、ベンゾイルフェニルウレア剤、BT 剤に対して抵抗性を有する害虫種にも有効である。
- 4) 鱗翅目害虫に対して、比較的速効的に作用し、作物の食害を抑制する。経口的にも経皮的にも作用するが、経口的な作用の方が強い。
- 5) 比較的長い残効性がある。
- 6) 作物への薬害が認められていない。
- 7) 天敵・有用昆虫(蚕を除く)に影響が少ない。

以上の特性から、鱗翅目害虫防除剤として、本剤は有用であり、農業生産の安定と省力化に応えられる資材と考える。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

IV. 適用及び使用上の注意

1. 適用病害虫の範囲及び使用方法

1) 種類：フルベンジアミド水和剤

名称：フェニックス顆粒水和剤(20.0%)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルベンジアミドを含む農薬の総使用回数
もも ネクタリン	ハマキムシ類 モモハモグリガ シンクイムシ類 ケムシ類	4000倍	200~700 L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内 (樹幹散布は 1回以内、散布 は2回以内)
おうとう	ハマキムシ類						2回以内
小粒核果類 (うめ、すももを 除く)	ケムシ類						3回以内 (樹幹散布は 1回以内、散布 は2回以内)
うめ							
すもも	シンクイムシ類 ケムシ類						
なし	ハマキムシ類 シンクイムシ類 ケムシ類	4000~6000倍					2回以内
りんご	ハマキムシ類 キンモンハモグリガ キンモンホリガ ヨモギエダシヤク シンクイムシ類 ケムシ類						
ぶどう	ハスモンヨトウ ハマキムシ類 ケムシ類	4000倍		収穫14日前 まで			3回以内 (樹幹散布は 1回以内、散布 は2回以内)
かき	カキハタムシガ イガ類			収穫7日前 まで			2回以内
かんきつ	ミカンハモグリガ ハマキムシ類 ケムシ類、アゲハ類			収穫前日まで			3回以内
キウイ フルーツ	ハマキムシ類			収穫7日前 まで			3回以内
とうもろこし ヤングコーン	アワノメイガ オオタバコガ	2000~4000倍		収穫前日まで	2回以内		2回以内
そば	ハスモンヨトウ	2000~6000倍		収穫7日前 まで			
キャベツ	ヨトウムシ オオタバコガ アオムシ コナガ ハイマダラノメイガ ハスモンヨトウ ウワバ類	2000~4000倍	100~300 L/10a	収穫前日まで	3回以内		4回以内 (灌注は1回以 内、散布は3回 以内)
メキャベツ	アオムシ コナガ ウワバ類	2000倍					3回以内

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルベンジアミドを含む農薬の総使用回数				
はくさい	オオタバコガ アオムシ コナガ ヨウムシ ハスモンヨトウ	2000~4000倍	100~300 L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	4回以内 (灌注は1回以内、散布は3回以内)				
カリフラワー	コナガ ハイマダラノメイガ ヨウムシ						2回以内				
ブロッコリー	ハイマダラノメイガ ヨウムシ コナガ ハスモンヨトウ						3回以内 (灌注は1回以内、散布は2回以内)				
なばな類 非結球あぶらな 科葉菜類 (チンゲンサイを除く)	コナガ						2回以内				
チンゲンサイ	コナガ ハスモンヨトウ						2回以内				
レタス	ウワバ類 ヨウムシ ハスモンヨトウ オオタバコガ	2000~4000倍		収穫7日前まで	3回以内		3回以内 (灌注は1回以内、散布は2回以内)				
非結球レタス							2回以内				
ねぎ	シロイチモンヨトウ ネギコガ	2000~4000倍		収穫7日前まで	3回以内		3回以内				
かぶ	ハイマダラノメイガ コナガ						2回以内	2回以内			
だいこん								収穫7日前まで	1回	1回	
はつか だいこん										2回以内	2回以内
わさびだいこん											
きゅうり	ウリノメイガ ハスモンヨトウ	2000~4000倍		収穫前日まで	3回以内		3回以内				
すいか	ハスモンヨトウ ウリノメイガ オオタバコガ						2回以内				
メロン	ウリノメイガ オオタバコガ						2回以内				
にがうり	ハスモンヨトウ ウリノメイガ	2000倍	収穫前日まで	3回以内	3回以内						
なす	ハスモンヨトウ オオタバコガ	2000~4000倍			2回以内	2回以内					
トマト ミニトマト いちご											
ピーマン とうがらし類							オオタバコガ				
にんじん							ヨウムシ				

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルベンジアミドを含む農業の総使用回数
ばれいしょ	ハスモンヨウ	2000～4000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
かんしょ	ハスモンヨウ ナカジロシタバ	2000～6000倍					
さといも	ハスモンヨウ	2000～4000倍		収穫14日前まで			
やまのいも	ナガイモカ						
やまのいも (むかご)	ハスモンヨウ						
はすいも(葉柄)	ハスモンヨウ	2000倍		収穫前日まで	3回以内		3回以内
しそ				収穫7日前まで			
しそ(花穂) バジル				収穫3日前まで			
オクラ							
しょうが	アワノメイガ ハスモンヨウ	2000～4000倍		収穫前日まで	2回以内		2回以内
しよくよう ほおずき	ハスモンヨウ	2000倍		収穫7日前まで			
食用金魚草		4000倍					
食用ミニバラ							
みょうが(花穂)		2000倍		収穫前日まで	3回以内		3回以内
みょうが(莖葉)	みょうが(花穂)の収穫前日まで 但し、花穂を収穫しない場合に あつては開花期終了まで						
アスパラガス	ハスモンヨウ	2000～4000倍		収穫前日まで	2回以内		2回以内
	オオタバコカ ヨウムシ						
豆類(未成熟、 ただし、えだまめ、 さやいんげん、 さやえんどうを除く)	ハスモンヨウ	2000倍					
		2000～4000倍					
さやいんげん	アスキノメイガ	4000倍					
さやえんどう	ハスモンヨウ	2000～4000倍					
	シロイチモジヨウ						
えだまめ	ハスモンヨウ	2000倍	収穫7日前まで		3回以内	3回以内	
だいず	マダシクイガ						
あずき	ヨウムシ	2000～6000倍	2回以内		2回以内		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルベンジアミドを含む農薬の総使用回数
茶	チャノコカクモンハマキ チャノホソガ チャハマキ ヨモキエダシヤク ハスモンヨトウ	2000 倍	200～400 L/10a	摘採7日前 まで	1回	散布	1回
かぼちや* ごぼう* セルリー*	ハスモンヨトウ	2000～4000 倍	100～300 L/10a	収穫前日ま で	2回以内		2回以内
花き類・観葉植 物(きく、 りんどうを除く)	オオタバコガ ハスモンヨトウ	2000 倍		発生初期	4回以内		4回以内
きく	オオタバコガ ハスモンヨトウ	2000～4000 倍					
りんどう	オオタバコガ ハスモンヨトウ リンドウホソハマキ	2000 倍					

*:適用拡大申請中

2) 種類: フルベンジアミド水和剤

名称: フェニックスフロアブル(18.0%)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルベンジアミドを含む農薬の総使用回数
りんご	ハマキムシ類 キンモンホソガ ケムシ類 キンモンハモグリガ	4000～6000 倍	200～700 L/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
	シンクイムシ類 ヨモキエダシヤク ヒメホクテウ	4000 倍					
なし	ハマキムシ類	4000～6000 倍					
	シンクイムシ類 ケムシ類 フタモンダラメイガ ヒメホクテウ	4000 倍					
すもも	コスカシハ	200 倍	5～200 L/10a	開花期 まで	1回	樹幹部及び 主枝に散布	3回以内 (樹幹散布は 1回以内、散布は 2回以内)
	シンクイムシ類 ケムシ類 ハマキムシ類 コスカシハ	4000 倍	200～700 L/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	
小粒核果類 (うめ、すももを 除く)	ケムシ類 コスカシハ						2回以内
うめ	コスカシハ	200 倍	5～200 L/10a	開花期 まで	1回	樹幹部及び 主枝に散布	3回以内 (樹幹散布は 1回以内、散布は 2回以内)

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルベンジアミドを含む農薬の総使用回数
もも ネクタリン	ハマキムシ類 モモハモグリガ シンクイムシ類 ケムシ類 コスカシハ	4000 倍	200~700 L/10a	収穫前日 まで	2 回以内	散布	3 回以内 (樹幹散布は 1 回以内、散布 は 2 回以内)
	コスカシハ	200~500 倍	5~200 L/10a	開花期 まで	1 回	樹幹部及び 主枝に散布	
おうとう	コスカシハ ケムシ類	4000 倍	200~700 L/10a	収穫前日 まで	2 回以内	散布	
	ハマキムシ類	4000~6000 倍					
ぶどう	ハスモンヨトウ ケムシ類 ハマキムシ類 スカシハ類 モンキクロノメイガ ミナガ類 ホソオビツチイロノメイガ	4000 倍	200~700 L/10a	収穫 14 日 前まで	2 回以内	散布	
	スカシハ類	500 倍					
かき	フタモンマダラメイガ スカシハ類	200 倍	5~200 L/10a	開花期 まで	1 回	樹幹部及び 主枝に散布	
	カキノハタムシガ イラガ類 ハマキムシ類 ヒメコスカシハ フタモンマダラメイガ ケムシ類 ハスモンヨトウ	4000 倍	200~700 L/10a	収穫 7 日 前まで	2 回以内	散布	
くり	モモノコマダラノメイガ						
かんきつ	アゲハ類 ハスモンヨトウ ハマキムシ類 ケムシ類 ヨモキエダシヤク						
キウイフルーツ	スカシハ類 ハマキムシ類 キイロマイコガ	2000~4000 倍	100~300 L/10a	収穫 7 日 前まで	3 回以内	散布	
だいず	ハスモンヨトウ ウコンノメイガ ネキリムシ類			4000 倍			収穫 7 日 前まで
えだまめ	ハスモンヨトウ	2000~4000 倍	100~300 L/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	
	ウコンノメイガ ネキリムシ類	4000 倍					
茶	チャノホソガ	2000~4000 倍	200~400 L/10a	摘採 7 日 前まで	1 回	散布	
	チャハマキ チャノコカクモンハマキ ヨモキエダシヤク ハスモンヨトウ	2000 倍					
	チャトクガ	4000 倍					

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルベンジアミドを含む農薬の総使用回数
てんさい*	ヨウムシ	4000~6000倍	100~300 L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
ブルーベリー* さくら	ケムシ類	4000倍	200~700 L/10a	発生初期			

*:適用拡大申請中

3) 種類: フルベンジアミド水和剤

名称: ペガサスフロアブル(18.0%)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルベンジアミドを含む農薬の総使用回数
だいず	ハスモンヨトウ	16~32倍	0.8L/10a	収穫7日前まで	3回以内	無人ヘリコプターによる散布	3回以内
えだまめ		2000~4000倍	100~300 L/10a	収穫前日まで		散布	

4) 種類: イミダクロプリド・フルベンジアミド水和剤

名称: 日農セルオーフロアブル(4.0%+イミダクロプリド2.0%)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数	フルベンジアミドを含む農薬の総使用回数	
キャベツ	アブラムシ類 コナガ アオムシ ネキリムシ類 ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ ネギアザミウマ	100倍	セル成型育苗トレイ1箱 または ペーパーポット1冊 (30×60cm、 使用土壌約 1.5~4L)当り 0.5~1L	定植3日前 ~定植時	1回	灌注	3回以内 (育苗期の灌注 及び定植時の土 壌混和は合計1 回以内、散布は2 回以内)	4回以内 (灌注は1回以内、 散布は3回 以内)	
はくさい	アブラムシ類 コナガ ハイマダラノメイガ ネキリムシ類 ハスモンヨトウ								3回以内 (定植時までの処 理は1回以内、 散布は2回以内)
レタス	アブラムシ類 ネキリムシ類 ハスモンヨトウ オオタバコガ								3回以内 (育苗期の処理 は1回以内、散 布は2回以内)
ブロッコリー	アブラムシ類 コナガ ハイマダラノメイガ ネキリムシ類 ハスモンヨトウ								4回以内 (育苗期の灌注 は1回以内、定 植時の土壌混和 は1回以内、散 布は2回以内)

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

5) 種類: フルベンジアミド水和剤

名称: スティンガーフロアブル(42.0%)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルベンジアミドを含む農薬の総使用回数
樹木類	ケムシ類	8000倍	発生初期	2回以内	散布	2回以内

作物名	適用病害虫名	使用量		使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルベンジアミドを含む農薬の総使用回数
		薬量	希釈水量				
芝	スジキリヨトウ	35mL/10a	50~200L/10a	発生初期	2回以内	散布	2回以内
	シバツトガ タマナヤガ	50mL/10a	50~500L/10a				

6) 種類: フルベンジアミドくん煙剤

名称: 日農フェニックスジェット(10.0%)

作物名	適用場所	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルベンジアミドを含む農薬の総使用回数		
トマト	温室、ビニールハウス等密閉できる場所	オオタバコガ	くん煙室容積 400m ³ (床面積200m ² ×高さ2m)当り50g	収穫前日まで	2回以内	くん煙	2回以内		
いちご		ハスモンヨトウ							
なす		ハスモンヨトウ オオタバコガ						3回以内	3回以内
ピーマン		オオタバコガ						2回以内	2回以内
きゅうり		ウリメカイ		3回以内	みょうが(花穂)の 収穫前日まで 但し、花穂を収穫しない場合に あつては開花期終了まで		3回以内	3回以内	
みょうが(花穂)		ハスモンヨトウ							
みょうが(茎葉)									
きく			—	4回以内	4回以内				

2. 使用上の注意事項

1) 種類: フルベンジアミド水和剤

名称: フェニックス顆粒水和剤(20.0%)

- (1) 散布液量は、対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節すること。
- (2) 本剤は植物体への浸透移行性による効果は弱いので、かけ残しのないように葉の表裏に十分散布すること。
- (3) ぶどうの幼果期から果粒肥大期に使用する場合は、果粉の溶脱が生じるおそれがあるので注意すること。
- (4) 西洋なしの品種ル レクチエでは落花後から袋かけ前までの散布についてはリング状の葉斑が生じるおそれがあるので使用をさけること。
- (5) 蚕に対しては長期間毒性があるので、桑葉には絶対かからないように散布すること。
- (6) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (7) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

2) 種類: フルベンジアミド水和剤

名称: フェニックスフロアブル(18.0%)

- (1) 本剤を長期間静置した場合は粘性が高くなるので、使用前に瓶を軽く数回振ってから使用すること。
- (2) 散布液量は、対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節すること。
- (3) 本剤は植物体への浸透移行性による効果は弱いので、かけ残しのないように葉の表裏に十分散布すること。
- (4) ぶどうの幼果期から果粒肥大期に使用する場合は、果粉の溶脱が生じるおそれがあるので注意すること。
- (5) 西洋なしの品種ル レクチエでは落花後から袋かけ前までの散布についてはリング状の葉斑が生じるおそれがあるので使用をさけること。
- (6) 4000倍希釈液を枝幹害虫防除に使用する場合、幼虫の食入前に樹幹部および主枝に十分散布すること。
- (7) 蚕に対しては長期間毒性があるので、桑葉には絶対かからないように散布すること。
- (8) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (9) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

3) 種類: フルベンジアミド水和剤

名称: ペガサスフロアブル(18.0%)

- (1) 本剤を長期間静置した場合は粘性が高くなるので、使用前に瓶を軽く数回振ってから使用すること。
- (2) 散布液量は、対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節すること。
- (3) 無人ヘリコプターによる散布に使用する場合は、次の注意事項を守ること。
 - ① 散布は散布機種種の散布基準に従って実施すること。
 - ② 散布に当っては散布機種種に適合した散布装置を使用すること。
 - ③ 少量散布の場合には、微量散布装置以外の散布器具は使用しないこと。
 - ④ 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
 - ⑤ 散布薬液の飛散によって自動車やカートタンの塗装等に被害を生じるおそれがあるので、散布区域内の諸物件に十分留意すること。
 - ⑥ 散布終了後は次の項目を守ること。
 - (a) 使用後の空の容器は放置せず、適切に処理すること。
 - (b) 機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。
- (4) 蚕に対しては長期間毒性があるので、桑葉には絶対かからないように散布すること。
- (5) 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

4) 種類: イミダクロプリド・フルベンジアミド水和剤

名称: 日農セルオーフロアブル(4.0%+イミダクロプリド2.0%)

- (1) 苗の定植 3 日前～定植時に調製液をセル成型育苗トレイまたはペーパーポットの上から灌注すること。また、本剤が土壤に十分吸収されないおそれがあるので処理直前や直後の灌水はさけること。
- (2) はくさいに使用する場合、液だまり等、薬液が過剰に付着した場合には薬害を生じるおそれがあるので、使用量を遵守し、処理むらが生じないように注意すること。
- (3) 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

5) 種類: フルベンジアミド水和剤

名称: スティンガーフロアブル(42.0%)

- (1) 蚕に対しては長期間毒性があるので、桑葉には絶対かからないように散布すること。
- (2) 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (3) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。
なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

6) 種類: フルベンジアミドくん煙剤

名称: 日農フェニックスジェット(10.0%)

- (1) 温室、ガラス室、ビニールハウス等防除しようとする室の戸や窓を閉め、室内の可燃物を除き、室の容積によって使用量を決め、必要に応じてくん煙箇所を数個所に分けて配置し、煙が万べんなく行きわたるようにすること。
- (2) くん煙する場合は、添付の吊具又は所定の電気式点火・くん煙装置を使用してくん煙すること。吊具および電気式点火・くん煙装置は栽培作物の高さで吊り下げるか又は不燃性の台などの上ののせて使用すること。なお、植物体、可燃物から離れた中央の安全な場所に設置すること。とくにビニール等の被覆材とは60cm以上離れた位置で使用すること。
- (3) 点火は以下のとおりに行なうこと。
 - ①点火紙を用いる場合
同封の点火紙を吊具の所定の位置に正しく設置しその上に薬剤をのせてから点火紙に点火する。点火紙を薬剤の上ののせて点火すると炎が出るのでさけること。
発煙直後に万一炎が出た場合は吹き消すこと。
点火後発煙を確認したらくん煙室の外に出てそのまま放置すること。
 - ②電気式点火・くん煙装置を使用する場合
装置は水などに濡れないように設置し、電源がオフになっていることを確認の上、薬剤を装置の所定の位置に正しく設置した後に通電すること。
点火後発煙したら電源のオフを確認し、くん煙室の外に出てそのまま放置すること。発煙直後に万一炎が出た場合においても、再びくん煙室に入らずに、そのまま放置すること。
 - ③点火後はくん煙終了時までくん煙室に入らないこと。
- (4) 室外で強い風が吹いている時は、煙が片寄ってしまい、均一な効果がでにくいので、使用しないこと。
- (5) 定植直後または幼苗・軟弱徒長苗には使用しないこと。
- (6) 高温時のくん煙は薬害を生じるおそれがあるので、日中のくん煙は避け、夕方からくん煙し、翌朝開放すること。
- (7) 空袋、空缶は、圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理すること。
- (8) 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

3. 水産動植物に有害な農薬については、その旨

1) 種類: フルベンジアミド水和剤

名称: フェニックス顆粒水和剤(20.0%)

- (1) 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう十分注意して使用すること。
- (2) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使い切ること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

2) 種類: フルベンジアミド水和剤

名称: フェニックスフロアブル(18.0%)

- (1) 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- (2) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

3) 種類: フルベンジアミド水和剤

名称: ペガサスフロアブル(18.0%)

- (1) 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- (2) 無人ヘリコプターによる散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意すること。
- (3) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

4) 種類: イミダクロプリド・フルベンジアミド水和剤

名称: 日農セルオーフロアブル(4.0%+イミダクロプリド2.0%)

- (1) 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- (2) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

5) 種類: フルベンジアミド水和剤

名称: スティンガーフロアブル(42.0%)

使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

6) 種類: フルベンジアミドくん煙剤

名称: 日農フェニックスジェット(10.0%)

水産動植物(甲殻類、藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、施設内に水産動植物を飼っている水槽等を置かないこと。

空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

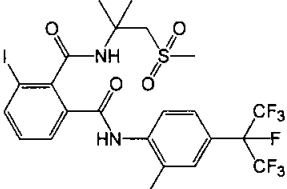
V. 残留性及び環境中予測濃度算定関係

1. 作物残留

1) 分析法の原理と操作概要

試料を含水アセトニトリル(又は含水アセトン、アセトニトリル-塩酸、アセトニトリルのいずれか)で抽出し、溶媒を減圧留去後、多孔性ケイソウ土カラム(又は、n-ヘキサン/トルエンでの分配)で抽出後、グラファイトカーボンミニカラムを通し、NH₂ミニカラム、フロリジルミニカラム(必要に応じてPHミニカラム、C18 ミニカラム又は PSA ミニカラムを追加)で精製後、高速液体クロマトグラフ(UV検出器又はフォトダイオードアレイ検出器)あるいは液体クロマトグラフ・質量分析計を用いて定量する。

2) 分析対象化合物

名 称	化学名・構造式	分子式 (分子量)	代謝経路図 中での記号
フルベンジアミド	<p>3-ヨード-N'-(2-メシル-1,1-ジメチルエチル)-N-(4-[1,2,2,2-テトラフルオロ-1-(トリフルオロメチル)エチル]-オトリル)フタルアミド</p> 	C ₂₃ H ₂₂ F ₇ IN ₂ O ₄ S (682.39)	A

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

3) 残留試験結果

【とうもろこし】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農薬研究所		日本エコテック㈱	
とうもろこし (露地) [乾燥子実] 平成20年度 資料No.57	顆粒水和剤 (20.0%) 2000倍	日植防研 成東試験地	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	200L/10a 散布	鹿児島県 農業環境協会	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
未成熟 とうもろこし (露地) [種子] 平成20年度 資料No.58	顆粒水和剤 (20.0%) 2000倍	日植防研 成東試験地	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	200L/10a 散布	石川植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

【そば】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経 過 日 数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					日本エコテック㈱		—	
そば (露地) [種子] 平成 21 年度 資料No.60	顆粒水和剤 (20.0%) 2000 倍	日植防研 牛久	0	—	<0.01	<0.01	/	
			2	7	1.09	1.08		
			2	14	1.10	1.10		
			2	21	0.90	0.88		
	190L/10a(牛久) 200L/10a(長野) 散布	長野植防 南信研究所	0	—	<0.01	<0.01	/	
			2	7	3.27	3.24		
			2	14	1.68	1.60		
			2	21	1.24	1.21		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

【だいず】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)				
					公的分析機関		社内分析機関		
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)		
					最高値	平均値	最高値	平均値	
						(財)残留農業研究所	日本農業総合研究所		
だいず (露地) [乾燥子実] 平成15年度 資料No.15	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 150L/10a 散布	北海道 植防 (音更)	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
			3	7	0.034	0.032	0.025	0.024	
			3	14	0.019	0.019	0.013	0.012	
			3	21	0.014	0.014	0.011	0.011	
	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 200L/10a 散布	岐阜植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
			3	7	0.089	0.088	0.063	0.060	
			3	14	0.077	0.075	0.054	0.052	
			3	21	0.068	0.066	0.050	0.049	
						(財)残留農業研究所	日本エコテック㈱		
だいず (露地) [乾燥子実] 平成21年度 資料No.54	フロアブル (18.0%) 2000倍	岩手植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	7	0.06	0.06	0.05	0.04	
			3	14	0.03	0.03	0.03	0.03	
			3	21	0.03	0.03	0.02	0.02	
	176L/10a(岩手) 170L/10a(広島) 散布	広島植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	7	0.04	0.04	0.05	0.04	
			3	14	0.05	0.05	0.05	0.05	
			3	21	0.04	0.04	0.04	0.04	
だいず (露地) [乾燥子実] 平成21年度 資料No.55	フロアブル (18.0%) 16倍	宮城植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	7	0.04	0.04	0.09	0.08	
			3	14	0.03	0.03	0.04	0.04	
			3	21	0.01	0.01	<0.01	<0.01	
	0.8L/10a 無人ヘリコプター による散布	鹿児島県 農業環境 協会	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	7	0.09	0.09	0.04	0.04	
			3	14	0.05	0.04	0.04	0.04	
			3	21	<0.01	<0.01	0.01	0.01	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

【あずき】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経 過 日 数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
						(財)残留農薬研究所	日本エコテック㈱	
あずき (露地) [乾燥子実] 平成21年度 資料No.87	顆粒水和剤 (20.0%) 2000倍	北海道 植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	7	0.04	0.04	0.04	0.04
			2	14	0.03	0.03	0.03	0.03
			2	21	0.02	0.02	0.02	0.02
	200L/10a 散布	新潟県農業 総合研究所	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

【ばれいしょ】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経 過 日 数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農業研究所		日本エコテック㈱	
ばれいしょ (露地) [塊茎] 平成19年度 資料No.34	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 200L/10a 散布	長崎総合 農林試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		宮崎総合 農業試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

【さといも】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経 過 日 数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農薬研究所		日本エコテック㈱	
さといも (露地) [塊茎] 平成19年度 資料No.36	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 200L/10a 散布	日植防研 (牛久)	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	3	0.01	0.01	<0.01	<0.01
			2	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		宮崎総合 農業試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

【かんしょ】

作物名 (栽培形態)	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経 過 日 数	分析結果(ppm)				
					公的分析機関		社内分析機関		
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)		
					最高値	平均値	最高値	平均値	
[分析部位] 年 度					(財)残留農業研究所	日本エコテック㈱			
かんしょ (露地) [塊根] 平成19年度 資料No.35	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 300L/10a 散布	日植防研 (成東)	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			2	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			2	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			2	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
		日植防研 (高知)	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

【やまのいも】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
						(財)残留農薬研究所	日本エコテック㈱	
やまのいも (露地) [塊茎] 平成19年度 資料No.85	顆粒水和剤 (20.0%) 2000倍	青森県農 林総合研 究センター	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	200L/10a 散布	長野植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
					日本エコテック㈱	—		
やまのいも (むかご) (露地) [むかご] 平成19年度 資料No.86	顆粒水和剤 (20.0%) 2000倍	青森県農 林総合研 究センター	0	-	<0.01	<0.01	/	
			2	1	1.25	1.23		
			2	3	1.32	1.31		
			2	7	0.94	0.91		
			2	14	0.70	0.70		
	200L/10a 散布	鳥取県園 芸試験場	0	-	<0.01	<0.01	/	
			2	1	1.39	1.38		
			2	3	1.22	1.22		
			2	7	1.71	1.63		
			2	14	0.57	0.53		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

【てんさい】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料 調製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)	
					公的分析機関	
					フルベンジアミド	
					最高値	平均値
日本エコテック(株)						
GLP 試験 てんさい (露地) [根部] 平成 23 年度 資料No.106	フロアブル (18.0%) 4000 倍 200L/10a (有明)	北海道植防 有明	0	-	<0.01	<0.01
			2	1	<0.01	<0.01
			2	3	<0.01	<0.01
			2	7	<0.01	<0.01
	209L/10a (長沼)	北海道植防 長沼	0	-	<0.01	<0.01
			2	1	<0.01	<0.01
			2	3	<0.01	<0.01
			2	7	<0.01	<0.01
	散布					

網掛けは追加提出

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

【だいこん】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農薬研究所		日本エコテック㈱	
だいこん (露地) [葉部] 平成14年度 資料No.13	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 150L/10a 散布	北海道 植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	7	1.83	1.82	1.86	1.86
			2	14	0.53	0.52	0.63	0.63
			2	21	0.04	0.04	0.11	0.11
			2	28	<0.01	<0.01	0.03	0.03
	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 200L/10a 散布	日植防研 牛久	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	7	3.89	3.88	2.42	2.42
			2	14	0.98	0.98	1.14	1.14
			2	21	1.03	1.02	0.60	0.60
			2	28	0.14	0.14	0.14	0.14
だいこん (露地) [根部] 平成14年度 資料No.14	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 150L/10a 散布	北海道 植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	7	<0.005	<0.005	0.006	0.006
			2	14	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	28	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 200L/10a 散布	日植防研 牛久	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	7	0.005	0.005	0.007	0.007
			2	14	<0.005	<0.005	0.007	0.007
			2	21	0.005	0.005	<0.005	<0.005
			2	28	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

【はつかだいこん】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
はつかだい こん (施設) [茎葉] 平成19年度 資料No.39	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 100L/10a 散布	愛知農試 (豊橋)	0	-	<0.05	<0.05	—	
			1	3	9.73	9.72		
			1	7	5.24	5.20		
			1	14	0.30	0.30		
		愛知農試 (豊川)	0	-	<0.05	<0.05		
			1	3	9.72	9.71		
			1	7	1.81	1.81		
			1	14	<0.05	<0.05		
はつかだい こん (施設) [根] 平成19年度 資料No.40	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 100L/10a 散布	愛知農試 (豊橋)	0	-	<0.01	<0.01		
			1	3	0.03	0.03		
			1	7	0.02	0.02		
			1	14	<0.01	<0.01		
		愛知農試 (豊川)	0	-	<0.01	<0.01		
			1	3	0.06	0.06		
			1	7	<0.01	<0.01		
			1	14	<0.01	<0.01		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

【かぶ】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農業研究所		日本エコテック㈱	
かぶ (施設) [葉部] 平成20年度 資料No.78	顆粒水和剤 (20.0%) 2000倍	日植防研 牛久	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	11.8	11.8	11.4	11.4
			2	3	10.3	10.0	9.94	9.85
			2	7	10.9	10.7	8.76	8.76
			2	14	5.58	5.40	7.37	7.33
		岐阜植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	13.4	13.2	15.3	15.2
			2	3	13.4	12.9	10.9	10.6
			2	7	10.7	10.4	10.4	10.2
			2	14	5.52	5.40	6.81	6.70
かぶ (施設) [根部] 平成20年度 資料No.78	200L/10a 散布	日植防研 牛久	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	0.02	0.02	0.03	0.02
			2	3	0.04	0.04	0.04	0.04
			2	7	0.02	0.02	0.02	0.02
			2	14	0.01	0.01	0.03	0.03
		岐阜植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	0.06	0.06	0.03	0.03
			2	3	0.06	0.06	0.02	0.02
			2	7	0.04	0.04	0.01	0.01
			2	14	0.03	0.03	0.02	0.02

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

【わさびだいこん】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
わさびだいこん (露地) [根部] 平成21年度 資料No.84	顆粒水和剤 (20.0%) 2000倍	北海道北見 農業試験場 (網走)	0	-	<0.01	<0.01	/	
			2	6	0.06	0.06		
			2	14	0.06	0.06		
			2	21	0.05	0.05		
	150L/10a 散布	北海道北見 農業試験場 (美幌)	0	-	<0.01	<0.01	/	
			2	6	0.04	0.04		
			2	14	0.03	0.03		
			2	21	0.02	0.02		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

【はくさい】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経 過 日 数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農薬研究所		日本エコテック㈱	
はくさい (露地) [茎葉] 平成 14 年度 資料No.8	顆粒水和剤 (20%) 2000 倍 200L/10a 散布	日植防研 牛久	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	1.79	1.78	1.81	1.80
			3	3	1.36	1.32	1.27	1.24
			3	7	0.64	0.64	0.66	0.66
			3	14	0.36	0.36	0.38	0.37
			3	21	0.11	0.11	0.15	0.14
		群馬植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	1.28	1.27	1.70	1.70
			3	3	0.86	0.84	0.94	0.94
			3	7	0.32	0.32	0.54	0.54
			3	14	0.17	0.17	0.32	0.31
			3	21	0.07	0.07	0.08	0.07
はくさい (露地) [茎葉] 平成 19 年度 (高知) 平成 21 年度 (長野) 資料No.56	フロアブル (4.0%+イミダクロプリド 2.0%) 100 倍 1000mL/箱 1 回灌注 + 顆粒水和剤 (20.0%) 2000 倍 300L/10a 3 回散布	日植防研 高知試験場	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	1	0.93	0.92	0.82	0.81
			4	3	0.71	0.70	1.67	1.64
			4	14	0.76	0.76	0.94	0.93
		長野植防 南信研究所	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	1	0.95	0.94	1.92	1.84
			4	3	2.10	2.07	1.96	1.94
			4	14	0.45	0.44	0.45	0.43

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

【キャベツ、1/2】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農薬研究所		日本エコテック㈱	
キャベツ (露地) [葉球] 平成14年度 資料No.6	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 120~150L /10a 散布	岩手植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	1.13	1.12	0.40	0.40
			3	3	0.51	0.51	0.12	0.12
			3	7	0.21	0.21	0.12	0.12
			3	14	0.02	0.02	0.01	0.01
			3	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
キャベツ (露地) [葉球] 平成15年度 資料No.7	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 200L/10a 散布	北海道 中央農試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.32	0.32	0.28	0.27
			3	3	0.19	0.18	0.08	0.08
			3	7	0.05	0.05	0.08	0.08
			3	14	0.01	0.01	0.01	0.01
			3	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
キャベツ (露地) [葉球] 平成15年度 資料No.7	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 200L/10a 散布	岐阜植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.12	0.12	0.06	0.06
			3	3	0.03	0.03	0.06	0.06
			3	7	0.03	0.03	0.03	0.03
			3	14	<0.01	<0.01	0.03	0.03
			3	21	<0.01	<0.01	0.01	0.01

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

【キャベツ、2/2】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農薬研究所	日本エコテック㈱		
キャベツ (露地) [葉球] 平成18年度 資料No.21	フロアブル (4%+イミダクロプリ ド2%) 100倍 1000mL/箱 灌注、1回	日植防研 牛久	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.50	0.50	0.41	0.41
			3	3	0.46	0.46	0.43	0.43
			3	7	0.22	0.22	0.21	0.20
	+ 顆粒水和剤 (20%) 2000倍 300L/10a(牛久) 200L/10a(宮崎) 散布、2回	日植防研 宮崎	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.35	0.35	0.35	0.34
			3	3	0.48	0.48	0.38	0.37
			3	7	0.26	0.26	0.31	0.30
キャベツ (露地) [葉球] 平成19年度 資料No.28	フロアブル (4%+イミダクロプリ ド2%) 100倍 1000mL/箱 灌注、1回	日植防研 牛久	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	1	0.78	0.78	0.64	0.64
			4	3	0.67	0.66	0.64	0.64
			4	14	0.26	0.26	0.20	0.19
	+ 顆粒水和剤 (20%) 2000倍 300L/10a 散布、3回	日植防研 高知	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	1	0.87	0.87	0.73	0.72
			4	3	0.88	0.88	0.46	0.46
			4	14	0.45	0.45	0.10	0.09

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

【メキャベツ】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					日本環境科学㈱		—	
メキャベツ (露地) [脇芽] 平成21年度 資料No.82	顆粒水和剤 (20.0%) 2000倍	宮城県巨理 農業改良 普及センター	0	—	<0.01	<0.01	/	
			3	1	1.24	1.20		
			3	3	1.23	1.20		
			3	7	0.72	0.70		
	200L/10a 散布	宮城県 農業・園芸 総合研究所	0	—	<0.01	<0.01	/	
			3	1	0.32	0.32		
			3	3	0.37	0.36		
			3	7	0.15	0.14		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

【こまつな】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農薬研究所	日本エコテック㈱		
こまつな (施設) [茎葉] 平成19年度 資料No.70	顆粒水和剤 (20.0%) 2000倍	福島植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	14.7	14.4	17.7	17.2
			2	3	11.1	10.9	16.3	14.7
			2	7	8.04	7.94	11.7	10.8
			2	14	2.16	2.16	3.45	3.40
	200L/10a 散布	徳島植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
2			1	7.60	7.59	8.00	7.05	
2			3	6.36	6.30	6.84	5.48	
2			7	4.28	4.28	5.46	5.18	
2			14	1.29	1.29	1.56	1.50	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

【チンゲンサイ】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農薬研究所		日本エコテック㈱	
チンゲンサイ (施設) [茎葉] 平成19年度 資料No.72	顆粒水和剤 (20.0%) 2000倍	埼玉県 農林総合 研究センター	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	1.83	1.80	1.11	0.96
			2	3	1.90	1.85	2.90	2.86
			2	7	1.47	1.46	1.89	1.89
			2	14	1.00	0.98	1.42	1.35
	200L/10a 散布	三重植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	2.24	2.22	0.83	0.72
			2	3	1.96	1.91	0.56	0.49
			2	7	1.62	1.58	0.48	0.48
			2	14	0.98	0.97	0.22	0.22

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

【カリフラワー】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経 過 日 数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農薬研究所		日本エコテック㈱	
カリフラワー (露地) [花蕾] 平成19年度 資料No.79	フロアブル (4.0%+ イダクワリド2.0%) 100倍 1000ml/箱 1回灌注 +	日植防研 牛久	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.73	0.72	0.71	0.70
			3	3	0.49	0.48	0.50	0.48
			3	7	0.31	0.30	0.33	0.32
	顆粒水和剤 (20.0%) 2000倍 300L/10a 2回散布	長野植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.16	0.16	0.25	0.22
			3	3	0.12	0.12	0.07	0.07
			3	7	0.07	0.06	0.05	0.05

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

【ブロッコリー】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経 過 日 数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農業研究所		日本エコテック㈱	
ブロッコリー (露地) [花蕾] 平成18年度 及び 平成19年度 資料No.29	フロアブル (4%+イミダクロプリ ド2%) 100倍 1000mL/箱 灌注、1回	日植防研 牛久	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	1.65	1.60	1.19	1.16
			3	3	0.92	0.92	0.59	0.58
			3	6	0.58	0.58	0.37	0.36
			3	14	0.02	0.02	<0.01	<0.01
	+ 顆粒水和剤 (20%) 2000倍 300L/10a(牛久) 200L/10a(宮崎) 散布、2回	日植防研 宮崎	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.64	0.64	0.87	0.87
			3	3	0.28	0.28	0.25	0.24
			3	7	0.21	0.21	0.18	0.17
			3	14	0.07	0.06	0.05	0.04
3	18	0.03	0.03	0.02	0.02			

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

【なばな、はなっこりー、みずな】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					日本エコテック㈱		—	
なばな (露地) [茎葉部] 平成20年度 資料No.68	フロアブル (4.0%+ イタクトリン2.0%) 100倍 1L/セルトレイ 1回灌注 + 顆粒水和剤 (20.0%) 2000倍 200~208L/10a (愛知) 150L/10a(三重) 2回散布	愛知植防	0	—	<0.01	<0.01	/	
			3	1	4.48	4.22		
			3	3	2.60	2.56		
			3	7	0.75	0.72		
			3	14	0.14	0.14		
		三重植防	0	—	<0.01	<0.01		
			3	1	3.95	3.88		
			3	3	2.65	2.57		
			3	7	0.52	0.52		
			3	14	0.36	0.34		
					山口県農林総合技術センター		—	
はなっこりー (露地) [花蕾部及び茎] 平成20年度 資料No.69	フロアブル (4.0%+ イタクトリン2.0%) 100倍 1L/セルトレイ 1回灌注 + 顆粒水和剤 (20.0%) 2000倍 200L/10a 2回散布	山口県農林 総合技術セン ター(山口市)	0	—	<0.02	<0.02	/	
			3	1	0.99	0.98		
			3	3	0.75	0.73		
			3	7	0.35	0.34		
			3	14	0.15	0.14		
		山口県農林 総合技術セン ター(阿東町)	0	—	<0.02	<0.02		
			3	1	1.10	1.10		
			3	3	0.99	0.99		
			3	7	0.70	0.69		
			3	14	0.33	0.32		
					日本エコテック㈱		—	
みずな 平成20年度 (露地) 平成21年度 (施設) [茎葉] 平成20年度 (三重・徳島) 平成21年度 (牛久・岐阜) 資料No.71	顆粒水和剤 (20.0%) 2000倍 150L/10a (三重) 185L/10a (牛久) 200L/10a (徳島・岐阜) 散布	三重植防	0	—	<0.01	<0.01	/	
			2	1	2.34	2.34		
			2	3	1.79	1.76		
			2	7	0.75	0.74		
			2	14	0.45	0.44		
		徳島県立 農林水産 総合技術 センター	0	—	<0.01	<0.01		
			2	1	10.7	10.6		
			2	3	9.02	8.70		
			2	7	3.52	3.38		
			2	14	0.38	0.38		
		日植防研 牛久	0	—	<0.01	<0.01		
			2	1	7.72	7.41		
			2	3	7.20	7.18		
			2	7	6.41	6.38		
			2	14	4.99	4.98		
		岐阜植防	0	—	<0.01	<0.01		
2	1		5.19	5.17				
2	3		5.29	5.08				
2	7		4.99	4.98				

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

【のざわな】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					日本エコテック㈱		—	
のざわな (露地) [茎葉] 平成19年度 資料No.73	顆粒水和剤 (20.0%) 2000倍	日植防研 山梨試験地	0	—	<0.01	<0.01	/	
			2	1	2.34	2.28		
			2	3	2.86	2.68		
			2	7	1.46	1.42		
			2	14	1.34	1.26		
	200L/10a 散布	長野植防 南信研究所	0	—	<0.01	<0.01		
			2	1	2.86	2.81		
			2	3	2.37	2.37		
			2	7	2.25	2.17		
			2	14	2.02	1.99		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

【ごぼう】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料 調製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)	
					公的分析機関	
					フルベンジアミド	
					最高値	平均値
日本エコテック(株)						
GLP 試験 ごぼう (露地) [根部] 平成 23 年度 資料No.103	顆粒水和剤 (20.0%) 2000 倍 252L/10a (日植防茨城)	日植防 茨城研究所	0	-	<0.01	<0.01
			2	1	<0.01	<0.01
			2	3	<0.01	<0.01
			2	7	<0.01	<0.01
	250L/10a (日植防宮崎)	日植防 宮崎試験場	0	-	<0.01	<0.01
			2	1	<0.01	<0.01
			2	3	<0.01	<0.01
			2	7	<0.01	<0.01
散布						

網掛けは追加提出

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

【レタス】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農薬研究所	日本エコテック㈱		
レタス (施設) [茎葉] 平成14年度 資料No.9	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 200L/10a 散布	日植防研 牛久	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.58	0.58	0.94	0.94
			3	3	0.26	0.26	0.08	0.08
			3	7	0.63	0.62	0.27	0.26
			3	14	0.33	0.33	0.08	0.08
		和歌山 植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.50	0.50	0.24	0.24
			3	3	0.97	0.96	0.67	0.67
			3	7	0.42	0.42	0.54	0.54
			3	14	0.91	0.91	0.29	0.29
レタス (施設) [茎葉] 平成15年度 資料No.10	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 200L/10a 散布	兵庫植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	0.56	0.56	0.76	0.76
			2	3	0.24	0.24	0.78	0.78
			2	7	0.42	0.40	0.51	0.51
			2	14	0.30	0.29	0.27	0.27
			2	21	0.02	0.02	<0.01	<0.01
レタス (施設) [茎葉] 平成19年度 資料No.41	フロアブル (4%+イミダクロプリ ド2%) 100倍 1000mL/箱 灌注、1回 + 顆粒水和剤 (20%) 2000倍 200L/10a 散布、2回	岐阜植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	4.06	4.04	5.18	4.83
			3	3	4.79	4.68	6.20	5.74
			3	7	5.44	5.38	3.47	3.19
		日植防研 宮崎	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	1.89	1.88	1.16	1.16
			3	3	2.78	2.78	1.35	1.34
			3	7	0.62	0.61	1.28	1.27

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

【リーフレタス、サラダ菜】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					日本エコテック㈱		—	
リーフレタス (施設) [茎葉] 平成16年度 資料No.11	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 200L/10a 散布	茨城農総 センター (園研)	0	—	<0.01	<0.01		
			2	0	6.25	6.24		
			2	1	7.49	7.48		
			2	3	5.70	5.68		
			2	7	4.82	4.82		
			2	14	4.64	4.63		
			2	21	3.06	3.06		
	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 300L/10a 散布	静岡農試	0	—	<0.01	<0.01		
			2	0	7.90	7.89		
			2	1	9.50	9.49		
			2	3	7.42	7.40		
			2	7	7.26	7.24		
			2	14	5.94	5.94		
			2	21	2.39	2.38		
					(財)残留農薬研究所		—	
サラダ菜 (施設) [茎葉] 平成16年度 平成15年度 資料No.20	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 100L/10a 散布	千葉農総 センター	0	—	<0.01	<0.01		
			2	1	3.77	3.77		
			2	3	3.40	3.38		
			2	7	2.71	2.70		
			2	14	0.45	0.45		
	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 80~150L /10a 散布	日植防研 高知	0	—	<0.01	<0.01		
			2	1	7.17	7.13		
			2	3	5.96	5.94		
			2	7	4.73	4.70		
			2	14	0.65	0.64		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

【ねぎ】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経 過 日 数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農薬研究所		日本エコテック㈱	
ねぎ (露地) [茎葉] 平成14年度 資料No.12	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 200L/10a 散布	日植防研 牛久 (根深ねぎ)	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	0.87	0.86	0.88	0.88
			3	14	0.29	0.29	0.39	0.39
			3	21	0.21	0.20	0.12	0.11
			3	28	0.04	0.04	0.07	0.07
		兵庫植防 (葉ねぎ)	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	0.99	0.98	1.13	1.13
			3	14	0.92	0.91	1.01	1.00
			3	21	0.72	0.72	0.45	0.45
			3	28	0.24	0.24	0.25	0.24

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

【アスパラガス】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
アスパラガス (露地及び 施設) [若莖] 平成19年度 資料No.37	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 300L/10a 散布	長野植防 (南信)	0	-	<0.01	<0.01	—	
			2	1	0.47	0.46		
			2	3	0.04	0.04		
			2	7	0.03	0.03		
			2	14	<0.01	<0.01		
		香川農試	0	-	<0.01	<0.01		
			2	1	0.33	0.28		
			2	3	0.05	0.05		
			2	7	<0.01	<0.01		
			2	14	<0.01	<0.01		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

【にんじん】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経 過 日 数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					日本農業総合研究所		—	
GLP 試験 にんじん (露地) [根部] 平成21年度 資料No.76	顆粒水和剤 (20.0%) 2000 倍	日植防研 高知試験場	0	—	<0.01	<0.01	/	
			2	1	0.06	0.06		
			2	3	0.04	0.04		
			2	7	0.03	0.03		
	181L/10a 散布	日植防研 宮崎試験場	0	—	<0.01	<0.01	/	
			2	1	<0.01	<0.01		
			2	3	<0.01	<0.01		
			2	7	<0.01	<0.01		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

【セルリー】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料 調製場所	使用 回数	経 過 日 数	分析結果(ppm)	
					公的分析機関	
					フルベンジアミド	
					最高値	平均値
日本エコテック(株)						
GLP 試験 セルリー (施設) [茎葉] 平成 23 年度 資料No.104	顆粒水和剤 (20.0%) 2000 倍 267L/10a (日植防茨城) 281L/10a (日植防高知) 散布	日植防 茨城研究所	0	-	<0.01	<0.01
			2	1	5.18	4.92
			2	3	3.94	3.82
			2	7	3.82	3.77
		日植防 高知試験場	0	-	<0.01	<0.01
			2	1	5.34	5.26
			2	3	4.86	4.72
			2	7	4.47	4.38

網掛けは追加提出

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

【トマト、ミニトマト】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農業研究所		日本エコテック㈱	
トマト (施設) [果実] 平成15年度 資料No.5	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 200L/10a 散布	群馬植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	0.11	0.10	0.19	0.18
			2	3	0.14	0.14	0.12	0.12
			2	7	0.12	0.12	0.13	0.12
	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 300L/10a 散布	長野植防 (南信)	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	0.19	0.18	0.25	0.25
			2	3	0.13	0.13	0.24	0.24
			2	7	0.15	0.14	0.21	0.21
トマト (施設) [果実] 平成19年度	くん煙剤 (10%) 50g/400m ³ くん煙	日植防研 高知	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	0.06	0.06	0.07	0.07
			2	3	0.04	0.04	0.07	0.06
			2	7	0.04	0.04	0.06	0.06
		日植防研 宮崎	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	0.03	0.03	0.03	0.03
			2	3	0.02	0.02	0.03	0.03
			2	7	0.02	0.02	0.03	0.03
2	14	0.02	0.02	0.03	0.03			
ミニトマト (施設) [果実] 平成19年度 資料No.31	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 300L/10a 散布	岩手植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	0.36	0.36	0.37	0.36
			2	3	0.23	0.23	0.27	0.26
			2	7	0.31	0.31	0.29	0.28
	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 300L/10a 散布	福島植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	0.29	0.29	0.41	0.40
			2	3	0.45	0.44	0.43	0.39
			2	7	0.35	0.35	0.36	0.35
2	14	0.23	0.23	0.27	0.27			

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

【ピーマン】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農薬研究所		日本エコテック㈱	
ピーマン (施設) [果実] 平成14年度 資料No.27	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 200L/10a 散布	岩手植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	0.31	0.30	0.33	0.33
			2	3	0.46	0.46	0.27	0.26
			2	7	0.23	0.23	0.26	0.26
ピーマン (施設) [果実] 平成20年度	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 250L/10a 散布	日植防研 牛久	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	1.16	1.14	1.07	1.07
			2	3	0.64	0.62	0.69	0.68
			2	7	0.25	0.24	0.32	0.32
ピーマン (施設) [果実] 平成20年度	くん煙剤 (10%) 50g/400m ³ くん煙	日植防研 牛久	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	0.25	0.24	0.18	0.14
			2	7	0.07	0.07	0.06	0.04
			2	14	0.02	0.02	0.03	0.03
ピーマン (施設) [果実] 平成20年度	くん煙剤 (10%) 50g/400m ³ くん煙	日植防研 宮崎	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	0.12	0.12	0.05	0.05
			2	7	0.07	0.07	0.06	0.06
			2	14	0.02	0.02	0.02	0.02

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

【なす】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経 過 日 数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農薬研究所		日本エコテック㈱	
なす (施設) [果実] 平成18年度 資料No.26	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 250L/10a 散布	日植防研 牛久	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.25	0.24	0.40	0.40
			3	3	0.27	0.26	0.22	0.22
			3	7	0.02	0.02	0.03	0.03
	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 200L/10a 散布	日植防研 高知	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.22	0.22	0.24	0.24
			3	3	0.15	0.15	0.17	0.17
			3	7	0.12	0.12	0.07	0.07
なす (施設) [果実] 平成20年度	くん煙剤 (10%) 50g/400m ³ くん煙	日植防研 牛久	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.05	0.05	0.05	0.04
			3	7	0.02	0.02	0.02	0.02
			3	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	日植防研 宮崎	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
		3	1	0.04	0.04	0.06	0.06	
		3	7	0.02	0.02	0.03	0.03	
		3	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

【ししとう、甘長とうがらし】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					日本エコテック㈱		—	
ししとう (施設) [果実] 平成21年度 資料No.66	顆粒水和剤 (20.0%) 2000倍	和歌山 植防	0	—	<0.01	<0.01	/	
			2	1	1.47	1.47		
			2	3	0.95	0.94		
			2	7	0.43	0.42		
	300L/10a(和歌山) 250L/10a(高知) 散布	高知県 農業技術 センター	0	—	<0.01	<0.01	/	
			2	1	2.09	2.04		
			2	3	1.36	1.36		
			2	7	0.66	0.65		
甘長 とうがらし (施設) [果実] 平成21年度 資料No.67	顆粒水和剤 (20.0%) 2000倍	日植防研 (牛久)	0	—	<0.01	<0.01	/	
			2	1	0.96	0.95		
			2	3	0.68	0.66		
			2	7	0.47	0.47		
	263L/10a(牛久) 211L/10a(宮崎) 散布	日植防研 宮崎試験場	0	—	<0.01	<0.01	/	
			2	1	1.44	1.38		
			2	3	0.90	0.89		
			2	7	0.27	0.27		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

【きゅうり】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
		(財)残留農業研究所		日本エコテック㈱				
きゅうり (施設) [果実] 平成18年度 資料No.25	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 300L/10a 散布	石川植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.12	0.12	0.08	0.08
			3	3	0.04	0.04	0.04	0.04
			3	7	0.02	0.02	0.02	0.02
		高知農技 センター	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.22	0.22	0.18	0.18
			3	3	0.14	0.14	0.13	0.13
			3	7	0.04	0.04	0.05	0.04
きゅうり (施設) [果実] 平成20年度	くん煙剤 (10%) 50g/400m ³ くん煙	大阪府環境農林 水産総合 研究所	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		高知県農業 技術センター	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.04	0.04	0.03	0.02
			3	3	0.03	0.03	0.04	0.04
			3	7	0.02	0.02	0.02	0.02

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

【かぼちゃ】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料 調製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)	
					公的分析機関	
					フルベンジアミド	
					最高値	平均値
(一財)残留農薬研究所						
GLP 試験 かぼちゃ (施設) [果実] 平成 24 年度 資料No.105	顆粒水和剤 (20.0%) 2000 倍 231L/10a (石川)	石川植防	0	-	<0.01	<0.01
			2	1	0.14	0.14
			2	3	0.08	0.08
			2	7	0.16	0.15
			2	14	0.12	0.12
	273L/10a (日植防千葉)	日植防 千葉試験場	0	-	<0.01	<0.01
			2	1	0.06	0.06
			2	3	0.05	0.05
			2	7	0.04	0.04
			2	14	0.06	0.06
散布						

網掛けは追加提出

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

【すいか】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
						(財)残留農薬研究所	日本エコテック㈱	
すいか (施設) [果肉] 平成19年度 資料No.30	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 300L/10a 散布	日植防研 牛久	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
すいか (施設) [果肉] 平成19年度 資料No.30	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 300L/10a 散布	石川植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

【メロン】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経 過 日 数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					日本エコテック㈱		—	
GLP 試験 メロン (施設)	顆粒水和剤 (20.0%) 2000 倍	日植防研 高知試験場	0	—	<0.01	<0.01	/	
			2	1	<0.01	<0.01		
			2	3	<0.01	<0.01		
			2	7	<0.01	<0.01		
[果肉] 平成 21 年度 資料No.88	281L/10a(高知) 275L/10a(宮崎) 散布	日植防研 宮崎試験場	0	—	<0.01	<0.01	/	
			2	1	<0.01	<0.01		
			2	3	<0.01	<0.01		
			2	7	<0.01	<0.01		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

【にがうり】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経 過 日 数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					日本環境科学㈱		—	
にがうり (施設) [果実] 平成20年度 (児湯) 平成21年度 (普及センター) 資料No.81	顆粒水和剤 (20.0%) 2000倍 300L/10a (児湯) 300L/10a (普及センター) 散布	宮崎県病害 虫防除・肥 料検査セン ター (児湯農林 振興局)	0	—	<0.01	<0.01	/	
			3	1	0.15	0.14		
			3	3	0.37	0.36		
			3	7	0.08	0.08		
		宮崎県総合 農業試験場 (中部農林振 興局(普及セン ター))	0	—	<0.01	<0.01	/	
			3	1	0.90	0.88		
			3	3	0.45	0.44		
			3	7	0.11	0.10		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

【オクラ】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経 過 日 数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					日本エコテック㈱		—	
オクラ (施設) [果実] 平成21年度 資料No.77	顆粒水和剤 (20.0%) 2000倍	福井植防	0	—	<0.01	<0.01	/	
			2	1	0.35	0.34		
			2	3	0.13	0.12		
			2	7	0.04	0.04		
					日本エコテック㈱		—	
	250L/10a(福井) 299L/10a(高知) 散布	日植防研 高知試験場	0	—	<0.01	<0.01	/	
			2	1	0.98	0.98		
			2	3	0.55	0.55		
			2	7	0.11	0.11		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

【しょうが】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経 過 日 数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農業研究所		日本エコテック㈱	
しょうが (和歌山:施設 高知:露地) [根茎] 平成21年度 資料No.80	顆粒水和剤 (20.0%) 2000倍	和歌山 植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	200L/10a 散布	高知農業 技術センター	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

【さやえんどう】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					日本エコテック㈱		—	
さやえんどう (施設) [さや] 平成20年度 資料No.74	フロアブル (4.0%+ イダクロリド 2.0%) 100倍 1L/セルトレイ 1回灌注 + 顆粒水和剤 (20.0%) 2000倍 200L/10a 2回散布	和歌山 植防	0	—	<0.01	<0.01	/	
			3	1	0.59	0.58		
			3	3	0.57	0.56		
			3	7	0.20	0.20		
			3	14	0.12	0.12		
		鹿児島県 農業環境 協会	0	—	<0.01	<0.01	/	
			3	1	0.42	0.41		
			3	3	0.47	0.46		
			3	7	0.42	0.42		
			3	14	0.15	0.14		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

【さやいんげん】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド		フルベンジアミド	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農薬研究所		日本エコテック㈱	
さやいんげん (施設) [さや] 平成19年度 資料No.75	フロアブル (4.0%+ イダクワリル2.0%) 100倍 1000ml/箱 1回灌注 + 顆粒水和剤 (20.0%) 2000倍 200L/10a 2回散布	長野県 農事試験場	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.60	0.60	0.54	0.54
			3	3	0.36	0.36	0.49	0.44
			3	7	0.53	0.52	0.51	0.50
			0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	1.37	1.36	0.76	0.70
			3	3	1.32	1.31	0.83	0.80
			3	7	0.75	0.74	0.57	0.56

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

【えだまめ】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農薬研究所		日本エコテック㈱	
えだまめ (露地) [さや] 平成19年度 資料No.38	フロアブル (4%+イミダクロプリ ド2%) 100倍 1000mL/箱 灌注、1回 + 顆粒水和剤 (20%) 2000倍 200L/10a 散布、2回	青森植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.88	0.87	0.75	0.59
			3	3	0.82	0.81	0.64	0.62
			3	7	0.75	0.74	0.64	0.58
		日植防研 (高知)	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	1.68	1.67	1.07	1.06
			3	3	1.60	1.59	1.23	1.15
			3	7	1.00	0.99	0.73	0.70
えだまめ (露地) [さや] 平成22年度 資料No.91	顆粒水和剤 (20.0%) 2000倍 196.6L/10a(大分) 160L/10a(宮崎) 散布	大分肥料	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	1.56	1.54	1.27	1.21
			3	3	1.50	1.50	1.26	1.22
			3	7	1.14	1.12	0.82	0.81
		日植防研 宮崎試験場	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	1.44	1.44	1.25	1.20
			3	3	0.83	0.83	0.78	0.78
			3	7	0.77	0.76	0.58	0.57
えだまめ (露地) [さや] 平成21年度 資料No.92	フロアブル (18.0%) 2000倍 200L/10a(福島) 190L/10a(高知) 散布	福島植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	2.13	2.12	1.87	1.76
			3	3	2.08	2.06	1.77	1.72
			3	14	1.87	1.87	1.77	1.60
		日植防研 高知試験場	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	1.03	1.02	0.96	0.91
			3	3	0.90	0.90	0.77	0.77
			3	14	0.64	0.62	0.46	0.35

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

【ヤングコーン、食用金魚草、しよくようほうずき】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					日本エコテック㈱		—	
ヤングコーン (露地) [可食部] 平成20年度 資料No.59	顆粒水和剤 (20.0%) 2000倍	日植防研 成東試験地	0	—	<0.01	<0.01	/	
			2	1	<0.01	<0.01		
			2	3	<0.01	<0.01		
			2	7	<0.01	<0.01		
			2	14	<0.01	<0.01		
	200L/10a 散布	石川植防	0	—	<0.01	<0.01	/	
			2	1	<0.01	<0.01		
			2	3	<0.01	<0.01		
			2	7	<0.01	<0.01		
			2	14	<0.01	<0.01		
食用金魚草 (施設) [花] 平成23年度 資料No.101	顆粒水和剤 (20.0%) 4000倍	愛知県 農業総合 試験場 (神野新田町)	0	—	<0.01	<0.01	/	
			2	3	2.59	2.56		
			2	7	0.78	0.78		
			2	14	0.13	0.13		
			2	14	0.13	0.13		
	200L/10a 散布	愛知県 農業総合 試験場 (横須賀町)	0	—	<0.01	<0.01	/	
			2	3	5.62	5.50		
			2	7	1.23	1.18		
			2	7	1.23	1.18		
			2	14	0.63	0.62		
しよくよう ほうずき (施設) [果実] 平成22年度 資料No.83	顆粒水和剤 (20.0%) 2000倍	愛知県農業 総合試験場 (豊橋)	0	—	<0.01	<0.01	/	
			2	1	<0.01	<0.01		
			2	3	<0.01	<0.01		
			2	7	<0.01	<0.01		
			2	7	<0.01	<0.01		
	200L/10a 散布	愛知県農業 総合試験場 (蒲郡)	0	—	<0.01	<0.01	/	
			2	1	<0.01	<0.01		
			2	3	<0.01	<0.01		
			2	3	<0.01	<0.01		
			2	7	<0.01	<0.01		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

【しそ、はすいも(葉柄)】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					日本エコテック㈱		—	
しそ (施設) [葉] 平成20年度 資料No.89	顆粒水和剤 (20.0%) 2000倍	愛知県農業 総合試験場 (豊橋)	0	—	<0.01	<0.01	/	
			2	3	19.5	18.6		
			2	7	10.8	9.13		
			2	14	3.19	2.54		
	200L/10a(豊橋) 300L/10a(豊川) 散布	愛知県農業 総合試験場 (豊川)	0	—	<0.01	<0.01	/	
			2	3	35.9	35.8		
			2	7	19.9	19.2		
			2	14	2.50	2.46		
しそ(花穂) (施設) [花(花軸、花 柄を含む)] 平成23年度 資料No.102	顆粒水和剤 (20.0%) 2000倍	愛知県 農業総合 試験場 (豊橋)	0	—	<0.01	<0.01	/	
			2	3	15.7	15.2		
			2	7	11.9	11.2		
			2	14	2.01	2.00		
	200L/10a 散布	愛知県 農業総合 試験場 (豊川)	0	—	<0.01	<0.01	/	
			2	3	18.3	17.2		
			2	7	9.88	9.84		
			2	14	1.64	1.60		
					高知県農業技術センター		—	
はすいも (施設) [葉柄] 平成23年度 資料No.100	顆粒水和剤 (20.0%) 2000倍	高知県 農業技術 センター (須崎市)	0	—	<0.01	<0.01	/	
			3	1	0.19	0.18		
			3	3	0.08	0.08		
			3	7	0.07	0.07		
	300L/10a 散布	高知県 農業技術 センター (南国市)	0	—	<0.01	<0.01	/	
			3	1	0.25	0.25		
			3	3	0.10	0.10		
			3	7	0.15	0.15		
3	14	0.04	0.04					

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

【みょうが】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
みょうが (施設) [花穂] 平成20年度 平成21年度 資料No.90	顆粒水和剤 (20.0%) 2000倍	高知県 農業技術 センター (20年度)	0	-	<0.01	<0.01	/	
			3	1	<0.01	<0.01		
			3	3	<0.01	<0.01		
			3	7	<0.01	<0.01		
	300L/10a 散布	高知県 農業技術 センター (21年度)	0	-	<0.01	<0.01	/	
			3	1	<0.01	<0.01		
			3	3	<0.01	<0.01		
			3	7	<0.01	<0.01		
					高知県農業技術センター			
みょうが (施設) [花穂] 平成23年度 平成24年度	くん煙剤 (10.0%) 50g/400m ³ (23年度)	高知県 農業技術 センター (23年度)	0	-	<0.01	<0.01	/	
			3	1	<0.01	<0.01		
			3	3	<0.01	<0.01		
			3	7	<0.01	<0.01		
	50g/290m ³ (24年度) くん煙	高知県 農業技術 センター (24年度)	0	-	<0.01	<0.01	/	
			3	1	0.01	0.01		
			3	3	<0.01	<0.01		
			3	7	<0.01	<0.01		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

【みかん】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農業研究所		日本エコテック㈱	
温州みかん (施設、無袋) [果肉] 平成20年度 資料No.61	顆粒水和剤 (20.0%) 4000倍	徳島植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	<0.01	<0.01	0.03	0.03
			2	3	<0.01	<0.01	0.02	0.02
			2	14	<0.01	<0.01	0.01	0.01
		日植防研 高知試験場	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	<0.01	<0.01	0.03	0.03
			2	3	<0.01	<0.01	0.03	0.03
			2	14	<0.01	<0.01	0.03	0.03
温州みかん (施設、無袋) [果皮] 平成20年度 資料No.61	700L/10a 散布	徳島植防	0	-	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
			2	1	3.17	3.16	2.87	2.68
			2	3	3.07	3.05	3.12	3.10
			2	14	2.98	2.96	3.12	2.96
		日植防研 高知試験場	0	-	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
			2	1	2.61	2.58	2.35	2.34
			2	3	2.33	2.32	2.03	1.96
			2	14	2.39	2.39	2.30	2.24
					(一財)残留農業研究所		-	
GLP試験 温州みかん (施設) [果肉] 平成23年度 資料No.98	フロアブル (18.0%) 4000倍	日植防千葉試験場	0	-	<0.01	<0.01	/	
			2	1	<0.01	<0.01		
			2	3	<0.01	<0.01		
			2	7	<0.01	<0.01		
		日植防宮崎試験場	0	-	<0.01	<0.01	/	
			2	1	<0.01	<0.01		
			2	3	0.01	0.01		
			2	7	<0.01	<0.01		
GLP試験 温州みかん (施設) [果皮] 平成23年度 資料No.98	625L/10a (日植防千葉) 557L/10a (日植防宮崎) 散布	日植防千葉試験場	0	-	<0.05	<0.05	/	
			2	1	2.95	2.89		
			2	3	2.52	2.51		
			2	7	2.44	2.41		
		日植防宮崎試験場	0	-	<0.05	<0.05	/	
			2	1	2.08	2.07		
			2	3	2.22	2.20		
			2	7	2.33	2.32		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

【なつみかん、すだち、かぼす】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
						日本エコテック㈱		
なつみかん (露地、無袋) [果実] 平成20年度 資料No.94	顆粒水和剤 (20.0%) 4000倍 500/L 散布	三重植防	0	-	/		<0.01	<0.01
			2	1			0.11	0.10
			2	3			0.18	0.17
			2	14			0.14	0.14
	鹿児島県 農業環境 協会植物 防疫部会	0	-	/		<0.01	<0.01	
		2	1			0.15	0.14	
		2	3			0.11	0.10	
		2	14			0.11	0.10	
					(財)残留農薬研究所	日本エコテック㈱		
なつみかん (露地、無袋) [果実] 平成22年度 資料No.95	フロアブル (18.0%) 3600倍 600L/10a (和歌山) 606L/10a (宮崎) 散布	和歌山 植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	0.25	0.25	1.05	1.02
			2	3	0.35	0.35	0.70	0.69
			2	7	0.43	0.42	0.89	0.83
	日植防 宮崎試験場	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
		2	1	0.59	0.58	1.27	1.16	
		2	3	0.60	0.60	1.22	1.20	
		2	7	0.40	0.40	0.74	0.74	
	2	14	0.41	0.41	0.75	0.73		
						日本エコテック㈱	-	
かぼす すだち (露地、無袋) [果実] 平成20年度 資料No.96	顆粒水和剤 (20.0%) 4000倍 615L/10a (大分・かぼす) 500L/10a (徳島・すだち) 散布	大分県 肥料植防	0	-	<0.01	<0.01	/	
			2	1	0.17	0.17		
			2	3	0.22	0.22		
			2	14	0.10	0.10		
	徳島植防	0	-	<0.01	<0.01	/		
		2	1	0.56	0.55			
		2	3	0.34	0.34			
		2	14	0.29	0.28			
					(財)残留農薬研究所			
かぼす すだち (露地) [果実] 平成23年度 資料No.99	フロアブル (18.0%) 4000倍 555L/10a (大分・かぼす) 500L/10a (徳島・すだち) 散布	大分県 肥料 植防	0	-	<0.01	<0.01	/	
			2	1	0.05	0.05		
			2	3	0.05	0.05		
			2	7	0.06	0.06		
	徳島 植防	0	-	<0.01	<0.01	/		
		2	1	0.12	0.12			
		2	3	0.12	0.12			
		2	7	0.10	0.10			

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

【りんご】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果(ppm)				
					公的分析機関		社内分析機関		
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)		
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					(財)残留農薬研究所		日本エコテック㈱		
りんご (露地、無袋) [果実] 平成14年度 資料No.3	顆粒水和剤 (20%) 4000倍 400L/10a 散布	青森植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
			2	7	0.078	0.078	0.059	0.059	
			2	14	0.069	0.068	0.079	0.076	
			2	21	0.152	0.150	0.108	0.103	
	顆粒水和剤 (20%) 4000倍 500L/10a 散布	福島植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
			2	7	0.410	0.409	0.336	0.335	
			2	14	0.307	0.306	0.312	0.311	
			2	21	0.255	0.254	0.287	0.287	
		2	45	0.128	0.127	0.185	0.184		
りんご (露地、無袋) [果実] 平成17年度 資料No.19	顆粒水和剤 (20%) 4000倍 500L/10a 散布	福島植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			2	1	0.35	0.34	0.37	0.37	
			2	3	0.30	0.30	0.28	0.28	
			2	7	0.26	0.26	0.21	0.21	
	石川植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
		2	1	0.30	0.30	0.38	0.38		
		2	3	0.41	0.41	0.29	0.28		
		2	7	0.35	0.34	0.36	0.35		
りんご (福島:露地、無袋) 山梨:散布~摘 菜は除袋) [果実] 平成21年度 資料No.42	フロアブル (18.0%) 4000倍	福島植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			2	1	0.22	0.22	0.23	0.23	
			2	3	0.18	0.18	0.16	0.16	
			2	7	0.19	0.18	0.21	0.20	
	500L/10a(福島) 450L/10a(山梨) 散布	日植防研 山梨試験地	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			2	1	0.36	0.34	0.32	0.32	
			2	3	0.26	0.26	0.29	0.28	
			2	7	0.28	0.28	0.23	0.22	
りんご (露地、無袋) [果実] 平成21年度 資料No.43	フロアブル (18.0%) 4000倍	岩手植防	0	-	/		<0.01	<0.01	
			2	1			0.35	0.35	
		400L/10a(岩手) 450L/10a (秋田・長野)	日植防研 秋田試験地	0	-	/		<0.01	<0.01
				2	1			0.15	0.15
	500L/10a(石川)	長野植防	0	-	/		<0.01	<0.01	
			2	1			0.24	0.23	
	散布	石川植防	0	-	/		<0.01	<0.01	
			2	1			0.10	0.09	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

【なし】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
						(財)残留農薬研究所	日本エコテック㈱	
日本なし (露地、無袋) [果実] 平成14年度 資料No.2	顆粒水和剤 (20%) 4000倍 400L/10a 散布	福島植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	7	0.204	0.204	0.196	0.196
			2	14	0.181	0.180	0.187	0.184
			2	21	0.159	0.158	0.163	0.163
	顆粒水和剤 (20%) 4000倍 300L/10a 散布	日植防研 牛久	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	7	0.240	0.239	0.250	0.250
			2	14	0.170	0.170	0.199	0.197
			2	21	0.108	0.108	0.139	0.134
2	28	0.104	0.103	0.076	0.076			
西洋なし (露地、無袋) [果実] 平成18年度 資料No.18	顆粒水和剤 (20%) 4000倍 600L/10a 散布	青森農林 総研	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	0.29	0.28	0.19	0.18
			2	3	0.26	0.26	0.23	0.22
			2	7	0.13	0.13	0.13	0.12
日本なし (露地、無袋) [果実] 平成18年度 資料No.18	顆粒水和剤 (20%) 4000倍 600L/10a 散布	福井植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	0.29	0.28	0.32	0.32
			2	3	0.24	0.24	0.29	0.28
			2	7	0.31	0.30	0.21	0.21
日本なし (露地、無袋) [果実] 平成21年度 資料No.44	フロアブル (18.0%) 4000倍 400L/10a 散布	秋田県 農林水産 技術センター	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	0.19	0.19	0.21	0.21
			2	3	0.17	0.17	0.18	0.18
			2	7	0.14	0.14	0.17	0.17
	石川植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
		2	1	0.13	0.13	0.15	0.14	
		2	3	0.16	0.16	0.14	0.13	
		2	7	0.09	0.08	0.12	0.12	
2	14	0.08	0.08	0.11	0.10			
日本なし (露地、無袋) [果実] 平成21年度 資料No.45	フロアブル (18.0%) 4000倍 406L/10a(三重) 500L/10a(岡山) 散布	三重植防	0	-	/		<0.01	<0.01
			2	1			0.17	0.17
岡山県農業 総合センター	0	-	/		<0.01	<0.01		
	2	1			0.13	0.13		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

【もも】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)				
					公的分析機関		社内分析機関		
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)		
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					(財)残留農業研究所		日本農業㈱総合研究所		
もも (露地、無袋) [果肉] 平成15年度 資料No.1	顆粒水和剤 (20%) 4000倍 500L/10a 散布	長野植防 (須坂)	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
			2	1	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
			2	3	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
			2	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
			2	14	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
	顆粒水和剤 (20%) 4000倍 400L/10a 散布	岐阜植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
			2	1	0.012	0.012	<0.005	<0.005	
			2	3	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
			2	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
			2	14	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
もも (露地、無袋) [果皮] 平成15年度 資料No.1	顆粒水和剤 (20%) 4000倍 500L/10a 散布	長野植防 (須坂)	0	-	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005	
			2	1	3.85	3.80	3.36	3.32	
			2	3	3.11	3.09	2.59	2.55	
			2	7	3.34	3.30	1.77	1.76	
			2	14	2.12	2.12	2.01	2.00	
	顆粒水和剤 (20%) 4000倍 400L/10a 散布	岐阜植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005	
			2	1	5.25	5.20	2.51	2.48	
			2	3	2.47	2.43	2.68	2.38	
			2	7	1.46	1.44	0.666	0.650	
			2	14	1.18	1.16	0.965	0.963	
もも (露地、無袋) [果肉] 平成21年度 資料No.46	フロアブル (18.0%) ① 200倍 40L/10a 1回樹幹散布 + ② 3600倍 300L/10a(青森) 400L/10a(新潟) 2回散布	青森植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
		新潟県農業 総合研究所	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			青森植防	0	-	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
				3	1	1.60	1.55	2.91	2.65
3	3	2.17		2.16	2.11	2.10			
3	7	1.47		1.47	1.81	1.74			
新潟県農業 総合研究所	0	-	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05			
	3	1	1.44	1.44	2.48	2.44			
	3	3	1.88	1.87	2.81	2.74			
	3	7	1.65	1.62	2.23	2.13			

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

【ネクタリン】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経 過 日 数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					日本エコテック㈱		—	
ネクタリン (露地、無袋) [果実] 平成18年度 資料No.22	顆粒水和剤 (20%) 4000倍 400L/10a 散布	福島植防	0	—	<0.01	<0.01	/	
			2	1	0.26	0.26		
			2	3	0.15	0.15		
			2	7	0.13	0.13		
			2	14	0.12	0.12		
	顆粒水和剤 (20%) 4000倍 500L/10a 散布	長野植防 (須坂)	0	—	<0.01	<0.01		
			2	1	0.43	0.43		
			2	3	0.38	0.37		
			2	7	0.48	0.48		
			2	14	0.27	0.26		
ネクタリン (露地、無袋) [果実] 平成21年度 資料No.47	フロアブル (18.0%) ① 200倍 40L/10a 1回 樹幹散布 +	青森植防	0	—	<0.01	<0.01	/	
			3	1	0.17	0.16		
			3	3	0.17	0.16		
			3	14	0.11	0.11		
	② 3600倍 400L/10a(青森) 360L/10a(山梨) 2回 散布	日植防研 山梨試験地	0	—	<0.01	<0.01		
			3	1	0.43	0.42		
			3	3	0.47	0.46		
			3	14	0.30	0.28		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

【すもも】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					日本エコテック㈱		—	
すもも (露地、無袋) [果実] 平成19年度 資料No.33	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 400L/10a 散布	福島植防	0	—	<0.01	<0.01	/	
			2	1	0.19	0.19		
			2	3	0.23	0.22		
			2	7	0.15	0.15		
			2	14	0.06	0.06		
		群馬植防	0	—	<0.01	<0.01		
			2	1	0.85	0.80		
			2	3	0.39	0.39		
			2	7	0.68	0.57		
			2	14	0.57	0.48		
すもも (露地、無袋) [果実] 平成22年度 資料No.65	フロアブル (18.0%) ①200倍 40L/10a(山梨) 39L/10a(和歌山) 1回樹幹散布 + ②3600倍 360L/10a(山梨) 390L/10a(和歌山) 2回散布	日植防研 山梨試験地	0	—	<0.01	<0.01	/	
			3	1	0.03	0.03		
			3	3	0.03	0.02		
			3	7	<0.01	<0.01		
		和歌山 植防	0	—	<0.01	<0.01		
			3	1	0.03	0.02		
			3	3	0.03	0.02		
			3	7	0.02	0.02		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

【うめ】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農薬研究所		日本エコテック㈱	
うめ (露地、無袋) [果実] 平成19年度 資料No.63	顆粒水和剤 (20.0%) 2000倍 400L/10a 散布	長野植防 南信研究所	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	3	0.81	0.81	1.05	1.01
			2	7	0.87	0.86	0.87	0.86
			2	14	0.67	0.66	0.88	0.86
		福井植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	3	1.25	1.24	1.40	1.34
			2	7	1.02	1.00	1.37	1.35
			2	14	0.54	0.54	0.85	0.76
うめ (露地、無袋) [果実] 平成22年度 資料No.64	フロアフル (18.0%) ①200倍 40L/10a 1回樹幹散布 + ②3600倍 400L/10a(長野) 303L/10a(福井) 2回散布	長野植防 南信研究所	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.71	0.69	0.83	0.82
			3	3	0.63	0.62	0.68	0.68
			3	7	0.62	0.62	0.54	0.52
		福井植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	1.00	1.00	0.73	0.72
			3	3	0.98	0.96	0.71	0.71
			3	7	0.62	0.62	0.54	0.54

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

【おうとう】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)				
					公的分析機関		社内分析機関		
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)		
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					日本エコテック㈱		—		
おうとう (施設) [果実] 平成18年度 資料No.23	顆粒水和剤 (20%) 4000倍 600L/10a 散布	秋田果試	0	—	<0.01	<0.01	/		
			2	1	0.57	0.57			
			2	3	0.43	0.43			
			2	7	0.43	0.42			
			2	14	0.44	0.44			
	顆粒水和剤 (20%) 4000倍 500L/10a 散布	長野植防 (須坂)	0	—	<0.01	<0.01	/		
			2	1	0.39	0.39			
			2	3	0.43	0.43			
おうとう (施設) [果実] 平成21年度 資料No.48	フロアブル (18.0%) ① 200倍 40L/10a 1回樹幹散布 +	青森植防	0	—	<0.01	<0.01	/		
			3	1	0.11	0.10			
			3	3	0.09	0.09			
			3	14	0.05	0.05			
	② 3600倍 400L/10a 2回散布	岩手植防	0	—	<0.01	<0.01	/		
			3	1	0.49	0.48			
			3	3	0.58	0.58			
			3	14	0.44	0.44			
おうとう (施設) [果実] 平成21年度 資料No.49	フロアブル (18.0%) ① 200倍 40L/10a 1回樹幹散布 +	日植防研 秋田試験地	0	—	<0.01	<0.01	/		
			3	1	0.46	0.35			
	② 3600倍 450L/10a(秋田) 420L/10a(長野) 2回散布	長野植防	0	—	<0.01	<0.01	/		
			3	1	1.21	1.16			

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

【いちご】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農業研究所		日本エコテック㈱	
いちご (施設) [果実] 平成15年度 資料No.4	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 200L/10a 散布	三重植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005
			2	1	0.45	0.45	0.328	0.328
			2	3	0.34	0.34	0.202	0.201
			2	7	0.27	0.26	0.147	0.146
		奈良植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005
			2	1	0.83	0.82	0.754	0.754
			2	3	0.62	0.60	0.458	0.457
			2	7	0.49	0.48	0.270	0.268
いちご (施設) [果実] 平成18年度	くん煙剤 (10%) 50g/400m ³ くん煙	岐阜植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	0.12	0.12	0.20	0.20
			2	3	0.17	0.17	0.19	0.19
			2	7	0.13	0.12	0.09	0.08
			2	14	0.05	0.05	0.04	0.04
		日植防研 宮崎	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	0.15	0.14	0.16	0.15
			2	3	0.13	0.13	0.15	0.15
			2	7	0.08	0.08	0.08	0.08
			2	14	0.06	0.06	0.05	0.05

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

【ブルーベリー】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料 調製場所	使用 回数	経 過 日 数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド		フルベンジアミド	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農業研究所		-	
ブルーベリー (露地) [果実] 平成 23 年度 資料No.107	フロアブル (18.0%) 4000 倍 373L/10a (岩手) 350L/10a (山梨) 散布	岩手植防	0	-	<0.01	<0.01	/	
			2	1	0.54	0.54		
			2	3	0.55	0.54		
			2	7	0.61	0.60		
			2	14	0.55	0.54		
	日植防 山梨試験地	0	-	<0.01	<0.01			
		2	1	0.93	0.93			
		2	3	0.40	0.40			
		2	7	0.40	0.40			
		2	14	0.26	0.26			

網掛けは追加提出

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

【ぶどう】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製場 所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農業研究所		日本エコテック株	
ぶどう (施設、無袋) [果実] 平成 18 年度 資料No.24	顆粒水和剤 (20%) 4000 倍 700L/10a 散布	長野植防 (南信) (大粒)	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	7	0.31	0.31	0.77	0.76
			2	14	0.35	0.34	0.55	0.55
			2	21	0.14	0.14	0.42	0.42
	顆粒水和剤 (20%) 4000 倍 500L/10a 散布	石川植防 (小粒)	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	7	1.19	1.14	1.69	1.68
			2	14	0.80	0.80	0.83	0.82
			2	21	0.72	0.69	0.53	0.52
ぶどう (施設、無袋) [果実] 平成 21 年度 資料No.50	フロアブル (18.0%) 4000 倍 300L/10a 散布	長野植防 (大粒)	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	14	0.17	0.16	0.24	0.24
			2	21	0.34	0.34	0.26	0.25
			2	28	0.25	0.25	0.24	0.24
		三重県農業 研究所 (小粒)	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	14	0.81	0.80	1.12	1.07
			2	21	0.95	0.94	1.03	0.99
			2	28	0.94	0.93	0.84	0.83
ぶどう (施設、無袋) [果実] 平成 21 年度 資料No.51	300L/10a 散布	石川植防 (大粒)	0	-	/		<0.01	<0.01
			2	14			0.37	0.36
		京都府農林 水産技術セン ター (小粒)	0	-	/		<0.01	<0.01
			2	14			0.30	0.30
					日本エコテック(株)		-	
GLP 試験 ぶどう (施設) [果実] 平成 27 年度 資料No.110	フロアブル (18.0%) ①500 倍 1 回 樹幹散 布 ②4000 倍 2 回 散布	石川植防 ①167L/10a ②333L/10a	0	-	<0.01	<0.01	/	
			3	14	0.18	0.18		
			3	21	0.17	0.17		
			3	28	0.23	0.22		
		長野植防 須坂 ①183L/10a ②341L/10a	0	-	<0.01	<0.01	/	
			3	14	0.08	0.08		
			3	21	0.10	0.10		
			3	28	0.07	0.07		
		日植防宮崎 ①180L/10a ②320L/10a	0	-	<0.01	<0.01	/	
			3	14	0.23	0.22		
			3	21	0.20	0.20		
			3	28	0.21	0.20		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

【かき】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農業研究所	日本エコテック㈱		
かき (露地、無袋) [果実] 平成19年度 及び 平成18年度 資料No.32	顆粒水和剤 (20%) 4000倍 500L/10a 散布	岐阜植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	0.09	0.09	0.09	0.08
			2	3	0.08	0.08	0.08	0.07
			2	7	0.04	0.04	0.05	0.05
顆粒水和剤 (20%) 4000倍 400L/10a 散布	山形県産 業経済部	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
		2	1	0.12	0.12	0.08	0.08	
		2	3	0.07	0.07	0.07	0.07	
		2	7	0.06	0.06	0.07	0.07	
かき (露地、無袋) [果実] 平成21年度 資料No.93	フロアフル (18.0%) ①200倍 40L/10a 1回樹幹散布 +	愛知植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	0.24	0.24	0.29	0.26
			3	14	0.23	0.23	0.19	0.18
			3	21	0.12	0.12	0.12	0.12
	②3600倍 400L/10a 2回散布	和歌山 植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	0.22	0.22	0.10	0.10
			3	14	0.12	0.12	0.09	0.08
			3	21	0.06	0.06	0.06	0.06

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

【キウイフルーツ】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経 過 日 数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					日本エコテック㈱		—	
キウイフルーツ (露地) [果肉] 平成22年度 資料No.62	フロアブル (18.0%) 3600 倍	日植防研 山梨試験地	0	—	<0.01	<0.01	/	
			3	7	<0.01	<0.01		
			3	14	<0.01	<0.01		
			3	21	<0.01	<0.01		
		和歌山 植防	0	—	<0.01	<0.01	/	
	375L/10a(山梨) 320L/10a(和歌山) 散布		3	7	<0.01	<0.01		
			3	14	<0.01	<0.01		
			3	21	<0.01	<0.01		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

【くり】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経 過 日 数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					日本エコテック㈱		—	
くり (露地) [果実] 平成23年度 資料No.97	フロアブル (18.0%) 4000倍	日植防 茨城研究所	0	—	<0.01	<0.01	/	
			2	1	<0.01	<0.01		
			2	3	<0.01	<0.01		
			2	7	<0.01	<0.01		
	380L/10a (日植防茨城) 400 L/10a (岐阜) 散布	岐阜植防	0	—	<0.01	<0.01	/	
2			1	<0.01	<0.01			
2			3	<0.01	<0.01			
2			7	<0.01	<0.01			

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

【茶】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド(A)		フルベンジアミド(A)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農業研究所		日本農業(株)総合研究所	
茶 (露地、寒冷紗 で被覆) [あら茶] 平成15年度 資料No.16	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 200L/10a 散布	神奈川 農総研 (津久井)	0	-	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
			1	7	29.0	29.0	26.0	25.8
			1	10	21.4	21.2	20.6	20.4
			1	14	16.0	16.0	14.5	14.2
		1	21	2.88	2.82	2.67	2.66	
		高知農技 センター (茶業試)	0	-	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
			1	7	5.43	5.36	4.35	4.28
			1	10	7.11	7.06	7.95	7.80
1	14		5.26	5.26	4.68	4.57		
1	21	1.90	1.89	1.45	1.40			
茶 (露地、寒冷紗 で被覆) [浸出液] 平成15年度 資料No.17	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 200L/10a 散布	神奈川 農総研 (津久井)	0	-	/		<0.03	<0.03
			1	7			3.38	3.34
			1	10			2.44	2.32
			1	14			1.98	1.83
		1	21	0.29	0.28			
		高知農技 センター (茶業試)	0	-	/		<0.03	<0.03
			1	7			0.45	0.44
			1	10			0.85	0.84
1	14		0.56	0.54				
1	21	0.26	0.26					
					(財)残留農業研究所		日本エコテック(株)	
茶 (露地、寒冷紗 で被覆) [荒茶] 平成21年度 資料No.52	フロアブル (18.0%) 2000倍 400L/10a 散布	奈良植防	0	-	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
			1	7	28.6	28.3	18.3	18.2
			1	14	9.5	9.4	5.9	5.9
			1	21	3.7	3.7	2.2	2.0
		宮崎県 総合農業 試験場	0	-	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
			1	7	32.7	32.4	20.2	20.0
			1	14	12.7	12.6	7.2	7.0
			1	21	2.1	2.1	1.1	1.0
茶 (埼玉、静岡、三 重は露地で寒 冷紗で被覆。 鹿児島は露地 でハロンスクリーン で被覆) [荒茶] 平成21年度 資料No.53	フロアブル (18.0%) 2000倍 400L/10a 散布	埼玉県 農業総合 研究センター	0	-	/		<0.1	<0.1
			1	7			34.9	34.8
		静岡県 農林技術 研究所	0	-	/		<0.1	<0.1
			1	7			12.4	11.8
		三重植防	0	-	/		<0.1	<0.1
			1	7			6.3	6.3
		鹿児島県 農業開発 総合センター	0	-	/		<0.1	<0.1
			1	7			32.6	31.8

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

【バジル(葉)】

作物名 [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド		フルベンジアミド	
					最高値	平均値	最高値	平均値
バジル [葉] 平成 25 年度 資料No.108	顆粒水和剤 (20.0%) 2000 倍	愛知県 農業総合 試験場 (豊橋市)	0	-	<0.01	<0.01	/	
			2	3	10.9	10.8		
			2	7	5.77	5.71		
			2	14	0.73	0.70		
	200L/10a	愛知県 農業総合 試験場 (豊川市)	0	-	<0.01	<0.01		
			2	3	12.9	12.5		
			2	7	7.37	7.30		
			2	14	2.11	2.10		

【食用ミニバラ】

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					フルベンジアミド		フルベンジアミド	
					最高値	平均値	最高値	平均値
食用ミニバラ (施設) [花器全体] 平成 26 年度 資料No.109	顆粒水和剤 (20.0%) 4000 倍	愛知県農業 総合試験場 (豊川市三ツ相町)	0	-	<0.01	<0.01	/	
			2	1	1.41	1.40		
			2	3	0.99	0.98		
			2	7	0.59	0.58		
	200L/10a	愛知県農業 総合試験場 (豊川市若松町)	0	-	<0.01	<0.01		
			2	1	0.91	0.90		
			2	3	0.45	0.44		
			2	7	0.22	0.22		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

【参考／代謝物の分析】

1) 分析法の原理と操作概要

2) 分析化合物

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

3) 残留試験結果

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)								
					公的分析機関				社内分析機関				
					(B)		(C)		(B)		(C)		
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
				(財)残留農薬研究所				日本農薬株式会社総合研究所					
だいず (露地) [乾燥子実] 平成15年度 資料No.15	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 150L/10a 散布	北海道 植防 (音更)	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
			3	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
			3	14	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
			3	21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
	3	44	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 200L/10a 散布	岐阜植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
			3	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
			3	14	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
3			21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
3	42	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005			
				(財)残留農薬研究所				日本エコテック㈱					
だいこん (露地) [葉部] 平成14年度 資料No.13	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 150L/10a 散布	北海道 植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			2	7	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.02	0.02	<0.01	<0.01	
			2	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01	
			2	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
	2	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 200L/10a 散布	日植防研 牛久	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			2	7	0.04	0.04	<0.01	<0.01	0.03	0.03	<0.01	<0.01	
			2	14	0.01	0.01	<0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01	
2			21	0.01	0.01	<0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01		
2	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01			
だいこん (露地) [根部] 平成14年度 資料No.14	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 150L/10a 散布	北海道 植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
			2	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
			2	14	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
			2	21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
	2	28	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 200L/10a 散布	日植防研 牛久	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
			2	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
			2	14	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
2			21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
2	28	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005			
はくさい (露地) [茎葉] 平成14年度 資料No.8	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 200L/10a 散布	日植防研 牛久	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	1	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.02	0.02	<0.01	<0.01	
			3	3	0.01	0.01	<0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01	
			3	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01	
			3	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		群馬植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.01	0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.02	<0.01	<0.01	
			3	3	0.01	0.01	<0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01	
			3	7	0.01	0.01	<0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01	
			3	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)							
					公的分析機関				社内分析機関			
					(B)		(C)		(B)		(C)	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農業研究所				日本エコテック㈱			
キャベツ (露地) [葉球] 平成14年度 資料No.6	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 120~150L /10a 散布	岩手植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	3	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 200L/10a 散布	埼玉植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01
			3	3	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01
			3	7	0.01	0.01	<0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01
3			14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
3	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
キャベツ (露地) [葉球] 平成15年度 資料No.7	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 200L/10a 散布	北海道 中央農試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	3	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
	岐阜植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		3	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		3	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		3	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
3		14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
3	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
レタス (施設) [莖葉] 平成14年度 資料No.9	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 200L/10a 散布	日植防研 牛久	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01
			3	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	和歌山 植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		3	1	0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		3	3	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01	
		3	7	0.01	0.01	<0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01	
		3	14	0.02	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
レタス (施設) [莖葉] 平成15年度 資料No.10	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 200L/10a 散布	兵庫植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01
			2	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01
			2	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)											
					公的分析機関				社内分析機関							
					(B)		(C)		(B)		(C)					
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値				
リーフレタス (施設) [茎葉] 平成16年度 資料No.11	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 200L/10a 散布	茨城農総 センター (園研)	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	/							
			2	0	0.09	0.09	<0.01	<0.01								
			2	1	0.11	0.10	<0.01	<0.01								
			2	3	0.08	0.08	<0.01	<0.01								
			2	7	0.07	0.07	<0.01	<0.01								
			2	14	0.07	0.06	<0.01	<0.01								
	2	21	0.04	0.04	<0.01	<0.01										
	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 300L/10a 散布	静岡農試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01					/			
			2	0	0.14	0.14	<0.01	<0.01								
			2	1	0.16	0.16	<0.01	<0.01								
			2	3	0.12	0.12	<0.01	<0.01								
			2	7	0.11	0.11	<0.01	<0.01								
2			14	0.09	0.09	<0.01	<0.01									
2	21	0.03	0.03	<0.01	<0.01											
					(財)残留農業研究所											
サラダ菜 (施設) [茎葉] 平成16年度 平成15年度 資料No.20	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 100L/10a 散布	千葉農総 センター	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	/							
			2	1	0.06	0.06	<0.01	<0.01								
			2	3	0.04	0.04	<0.01	<0.01								
			2	7	0.03	0.03	<0.01	<0.01								
	2	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01										
	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 80~150L /10a 散布	日植防研 高知	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01					/			
			2	1	0.11	0.11	<0.01	<0.01								
			2	3	0.10	0.10	<0.01	<0.01								
			2	7	0.08	0.08	<0.01	<0.01								
			2	14	0.01	0.01	<0.01	<0.01								
2			21	0.01	0.01	<0.01	<0.01									
					(財)残留農業研究所				日本エコテック㈱							
ねぎ (露地) [茎葉] 平成14年度 資料No.12	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 200L/10a 散布	日植防研 牛久	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01				
			3	7	0.01	0.01	<0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01				
			3	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01				
			3	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01				
		3	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01					
		兵庫植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01				
			3	7	0.01	0.01	<0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01				
			3	14	0.01	0.01	<0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01				
	3		21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01					
	3		28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01					
	3		28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01					
	トマト (施設) [果実] 平成15年度 資料No.5	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 200L/10a 散布	群馬植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01				
				2	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01				
				2	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01				
2				7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01					
顆粒水和剤 (20%) 2000倍 300L/10a 散布		長野植防 (南信)	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01					
			2	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01					
			2	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01					
			2	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01					
			2	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01					
			2	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01					

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)							
					公的分析機関				社内分析機関			
					(B)		(C)		(B)		(C)	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農業研究所				日本エコテック㈱			
ピーマン (施設) [果実] 平成14年度 資料No.27	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 200L/10a 散布	岩手植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	顆粒水和剤 (20%) 2000倍 250L/10a 散布	日植防研 牛久	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	1	0.01	0.01	<0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01
			2	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01
			2	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
りんご (露地) [果実] 平成14年度 資料No.3	顆粒水和剤 (20%) 4000倍 400L/10a 散布	青森植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	14	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	顆粒水和剤 (20%) 4000倍 500L/10a 散布	福島植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	14	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
日本なし (露地) [果実] 平成14年度 資料No.2	顆粒水和剤 (20%) 4000倍 400L/10a 散布	福島植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	14	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	顆粒水和剤 (20%) 4000倍 300L/10a 散布	日植防研 牛久	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	14	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
もも (露地) [果肉] 平成15年度 資料No.1	顆粒水和剤 (20%) 4000倍 500L/10a 散布	長野植防 (須坂)	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	1	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	3	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	顆粒水和剤 (20%) 4000倍 400L/10a 散布	岐阜植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	1	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	3	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
もも (露地) [果皮] 平成15年度 資料No.1	顆粒水和剤 (20%) 4000倍 500L/10a 散布	長野植防 (須坂)	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	1	0.01	0.01	<0.01	<0.01	0.006	0.006	<0.005	<0.005
			2	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	顆粒水和剤 (20%) 4000倍 400L/10a 散布	岐阜植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	1	0.01	0.01	<0.01	0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
2	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005			

